

■建築凡例

- DS ダクトスペース
- PS バイブシャフト
- EPS 電気配管シャフト
- CH 煙突
- ELV エレベーター
- ESC エスカレーター
- SS ジャクター
- SS (特/防) 特定耐火設備 / 耐火設備シャクター
- EXP.J 14Kの299404
- EW 断熱壁
- 一般扉
- 常閉防火扉
- 点検口
- 鉄筋コンクリート壁
- ALC壁
- 軽集積骨間仕切壁

- R 壁型ルーフトレイン
- R 壁引ルーフトレイン
- R 壁柱
- R クラップ
- R クラップ (兼かご付)
- R カーブミラー
- R コーナーガード

- R マンホール 規格製600φ
- R マンホール 規格製650φ
- R マンホール 規格製750φ
- R 化粧マンホール600φ

- R 構造基礎 (タイドは基礎詳細参照)
- R 消火器ボックス
- R 消火栓ボックス
- R 地下二重壁水抜穴 (1層)
- R 地下二重壁水抜穴
- R 水栓
- R 排水目点検口
- R 1~14F北側ガソリン
- R GAS ガス消火器

①~⑭ 上層室凡例を示す

■面積凡例

- 図中の点線は建築基準法上の面積を示す
- 単位: m

■床レベル凡例

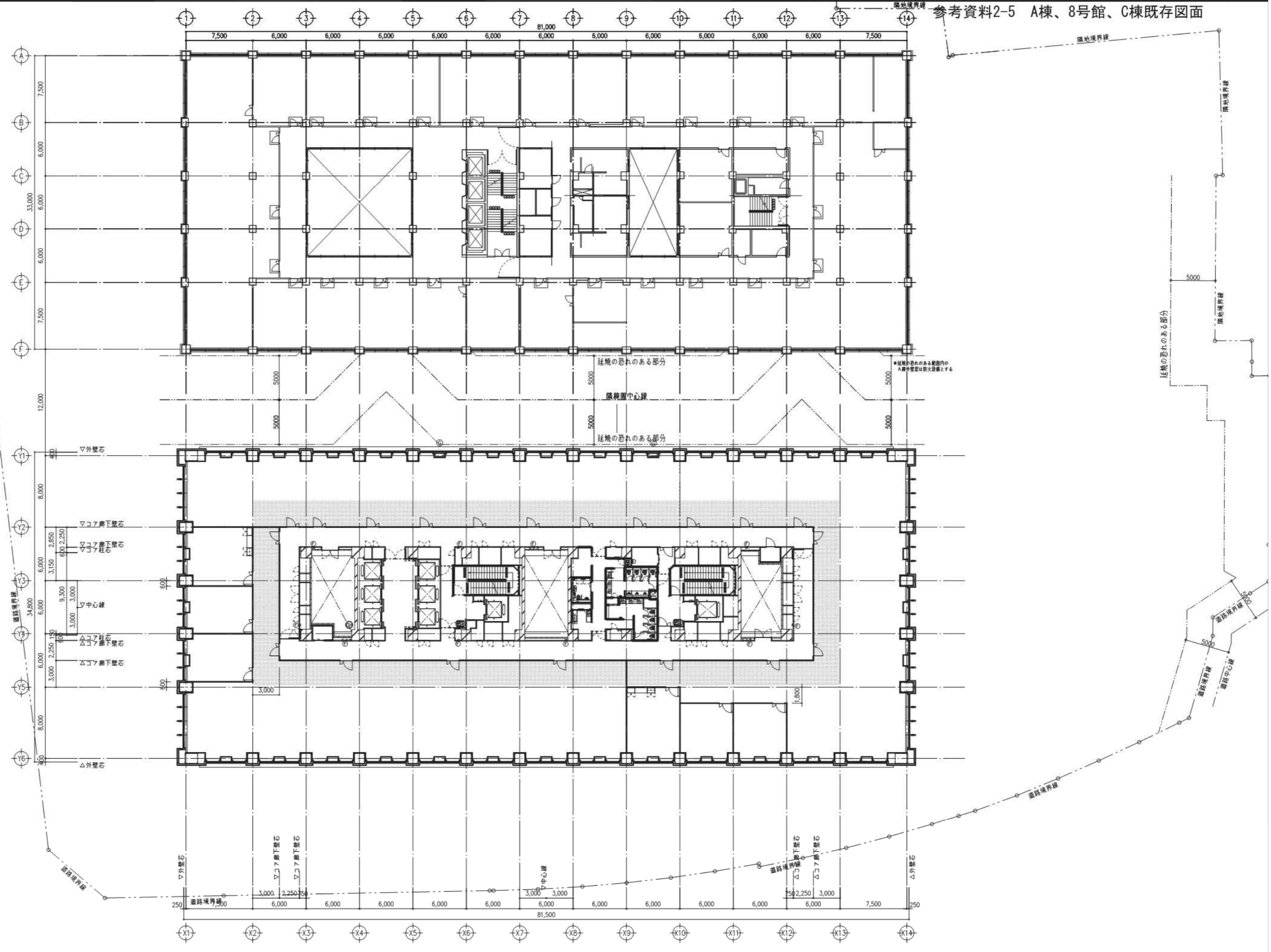
- ±0 仕上天橋レベル
- 5 スラブ天橋レベル

* 特記なき限り ±0 とする

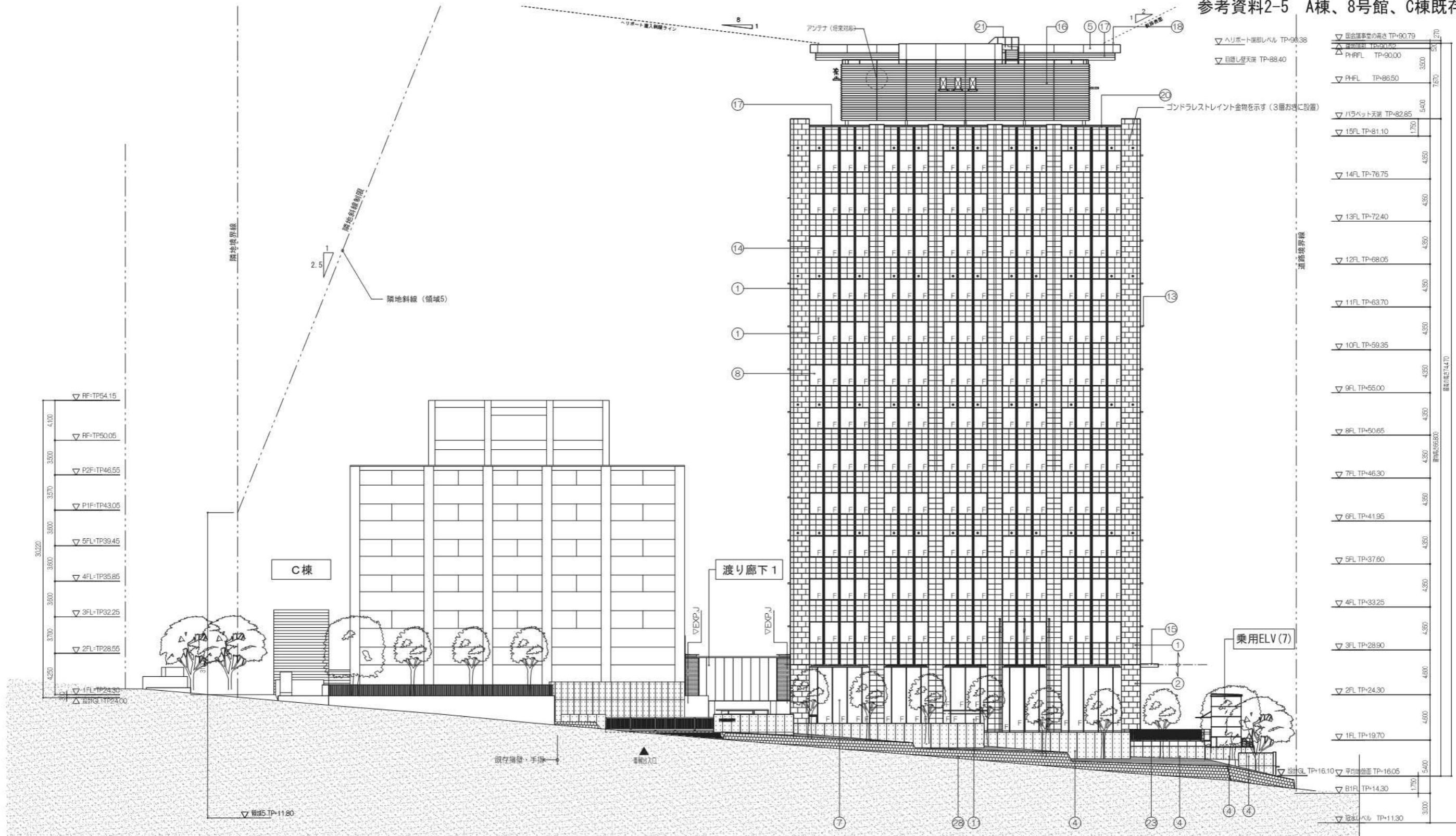
■外構レベル凡例

- ±0 凡よりのレベルを示す
- <100> 設計GLよりのレベルを示す
- <> 既存地盤レベルを示す
- ▽ 外構地盤: TP±16.05
- ▽ 設計GL: TP±15.00
- ▽ B1F: 設計GL-7.00

■方位



参考資料2-5 A棟、8号館、C棟既存図面



▽ 混合工事の最高 TP+90.79	▽ 17F TP+81.10
▽ 混合工事 TP+90.79	▽ 16F TP+82.85
▽ P1-FFL TP+90.00	▽ 15F TP+81.10
▽ P1-FFL TP+86.50	▽ 14F TP+76.75
▽ 15F TP+81.10	▽ 13F TP+72.40
▽ 14F TP+76.75	▽ 12F TP+68.05
▽ 13F TP+72.40	▽ 11F TP+63.70
▽ 12F TP+68.05	▽ 10F TP+59.35
▽ 11F TP+63.70	▽ 9F TP+55.00
▽ 10F TP+59.35	▽ 8F TP+50.65
▽ 9F TP+55.00	▽ 7F TP+46.30
▽ 8F TP+50.65	▽ 6F TP+41.95
▽ 7F TP+46.30	▽ 5F TP+37.60
▽ 6F TP+41.95	▽ 4F TP+33.25
▽ 5F TP+37.60	▽ 3F TP+28.90
▽ 4F TP+33.25	▽ 2F TP+24.30
▽ 3F TP+28.90	▽ 1F TP+19.70
▽ 2F TP+24.30	▽ 平均地面 TP+16.05
▽ 1F TP+19.70	▽ B1F TP+14.30
▽ 平均地面 TP+16.05	▽ 基本レベル TP+11.80
▽ B1F TP+14.30	
▽ 基本レベル TP+11.80	

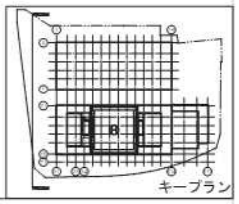


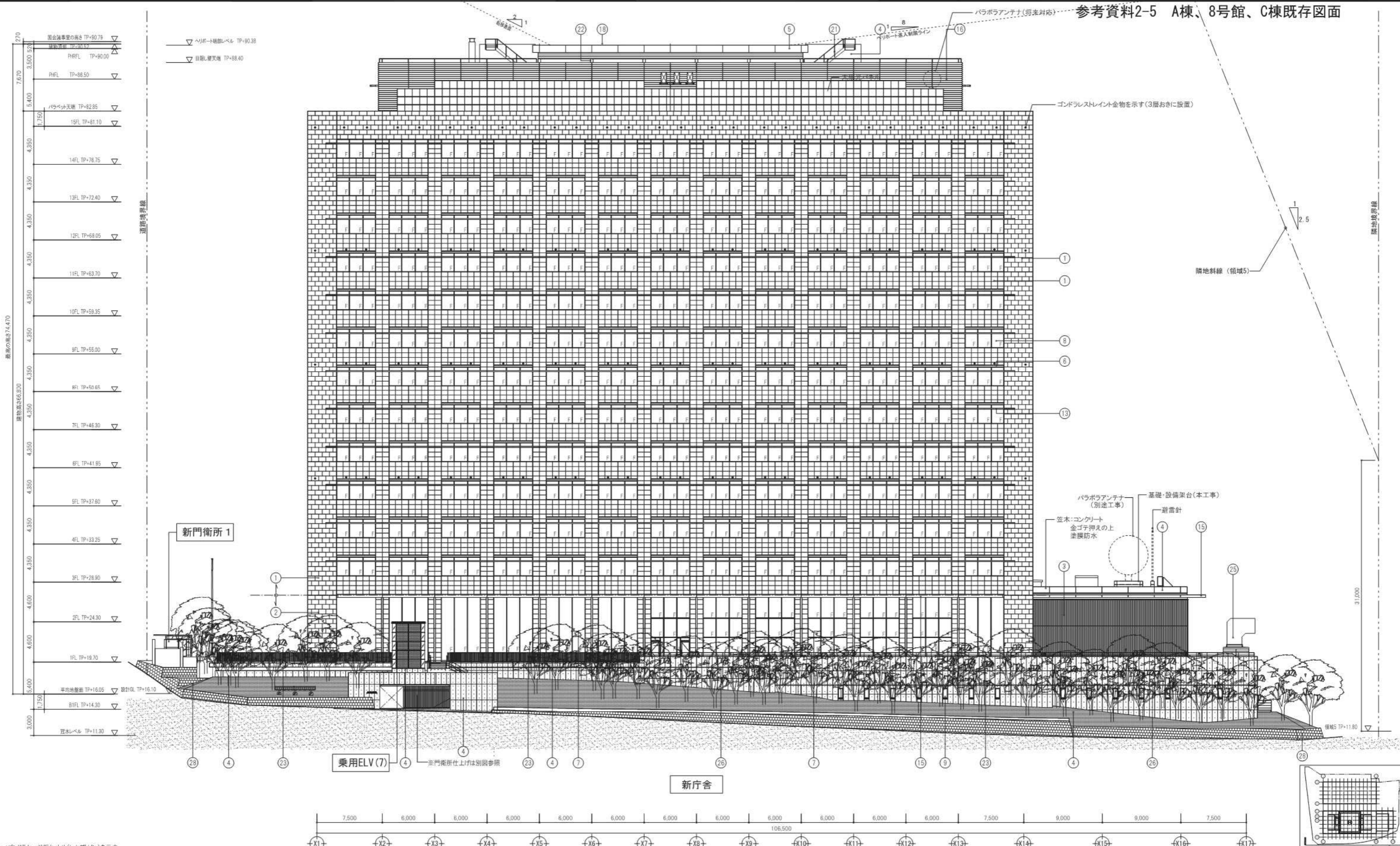
・：ゴンドラケーシング止め（レセプトピン）を示す

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
①	外壁 外国産花崗岩打込PC型枠	⑥	水平庇（基準階窓上） PC版水性シリケート塗装	⑩	アルミガラリ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑮	大庇 アルミ複合板 耐候性塗料焼付塗装	⑳	PC版頂部 ウレタン塗膜防水
②	外壁 外国産花崗岩（乾式石貼り工法）	⑦	アルミカーテンウォール アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜 スチール方立 フッ素樹脂塗装	⑪	ステンレス建具 ステンレス化粧強化ガラス引分自動扉	⑯	有孔折板（既製品） ポリエステル樹脂粉末塗装	㉑	屋外階段 鉄骨造 溶融亜鉛めっき。手摺：スチール溶融亜鉛めっき リン酸処理
③	外壁 押出成形セメント板 t60 フッ素樹脂塗装（リップ付）	⑧	基準階アルミサッシュ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑫	スチール建具 ボンデ鋼板ジंकロメート処理 SOP 小庇付き	⑰	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	㉒	鉄骨柱 溶融亜鉛めっき
④	外壁 化粧打放しコンクリート 撥水剤塗布（ランデックスコート程度）	⑨	アルミサッシュ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑬	水平フィン アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜（ファインマットグレー） ※壁面設置体兼用	⑭	柱木 アルミ型材（既製品） 陽極酸化塗装複合皮膜 ※壁面設置体兼用	⑲	手摺 スチール溶融亜鉛めっき リン酸処理
⑤	PC版 水性シリケート塗装			⑭	垂直フィン アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜（ファインマットグレー） ※壁面設置体兼用			㉓	手摺 スチール溶融亜鉛めっき

※ガラスはガラス厚案内図参照 ※外壁石種は石種案内図参照

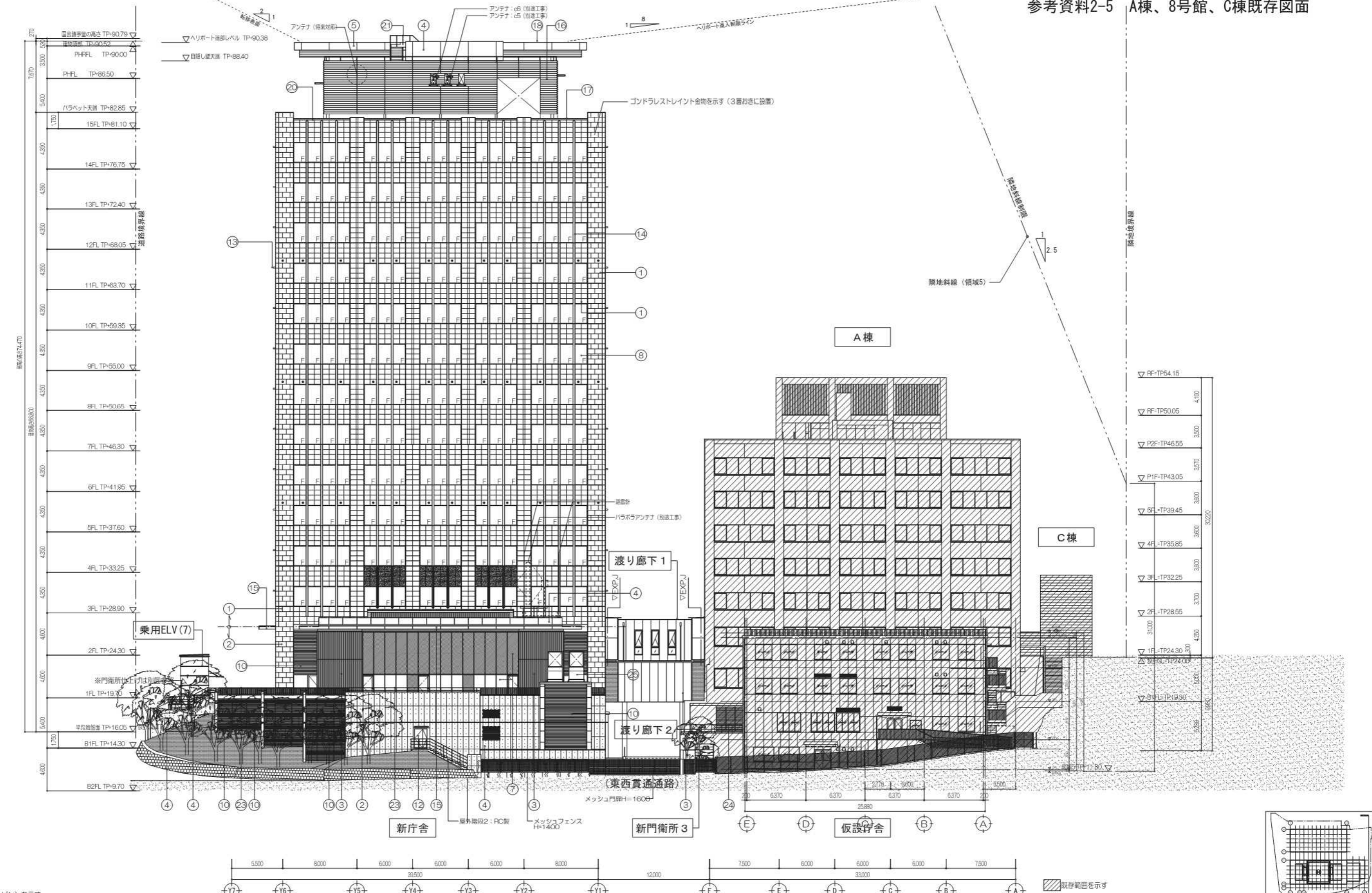
中央合同庁舎第8号館整備等事業		新庁舎等	A-201
西側立面図		完成図	049
		日付	14.03.24
		縮尺	1:200(A1)/1:400(A3)
			355





・:ゴンドラケージ振れ止め(レセプトピン)を示す

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
①	外壁 外国産花崗岩打込PC型枠	⑥	水平庇(基準階窓上) PC板水性シリケート塗装	⑩	アルミガラリ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑮	大庇 アルミ複合板 耐候性塗料焼付塗装	⑳	PC板頂部 ウレタン塗膜防水
②	外壁 外国産花崗岩(乾式石貼り工法)	⑦	アルミカーテンウォール アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜 スチール方立 フッ素樹脂塗装	⑪	ステンレス建具 ステンレス化粧板付強化ガラス引分自動扉	⑯	有孔折板(既製品) ポリエステル樹脂粉体塗装	㉑	屋外階段 鉄骨造 溶融亜鉛めっき、手摺:スチール溶融亜鉛めっき リン酸処理
③	外壁 押出成形セメント板160 フッ素樹脂塗装(リブ付)	⑧	基準階アルミサッシュ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑫	スチール建具 ボンデ鋼板ジクロロメート処理 SOP 小此付き	⑰	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	㉒	鉄骨柱 溶融亜鉛めっき
④	外壁 化粧打放しコンクリート 撥水剤塗布(ランデックスコート程度)	⑨	アルミサッシュ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑬	水車フィン アルミ押出型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜(ファインマットグレー) ※壁面耐震体兼用	⑱	笠木 アルミ型材(既製品) 陽極酸化塗装複合皮膜 ※避雷導体兼用	㉓	手摺 スチール溶融亜鉛めっき リン酸処理
⑤	PC板 水性シリケート塗装			⑭	鉛鉛バー アルミ押出型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜(ファインマットグレー) ※壁面耐震体兼用	⑲	ALC版 防水塗膜複合塗材E	㉔	手摺 スチール溶融亜鉛めっき



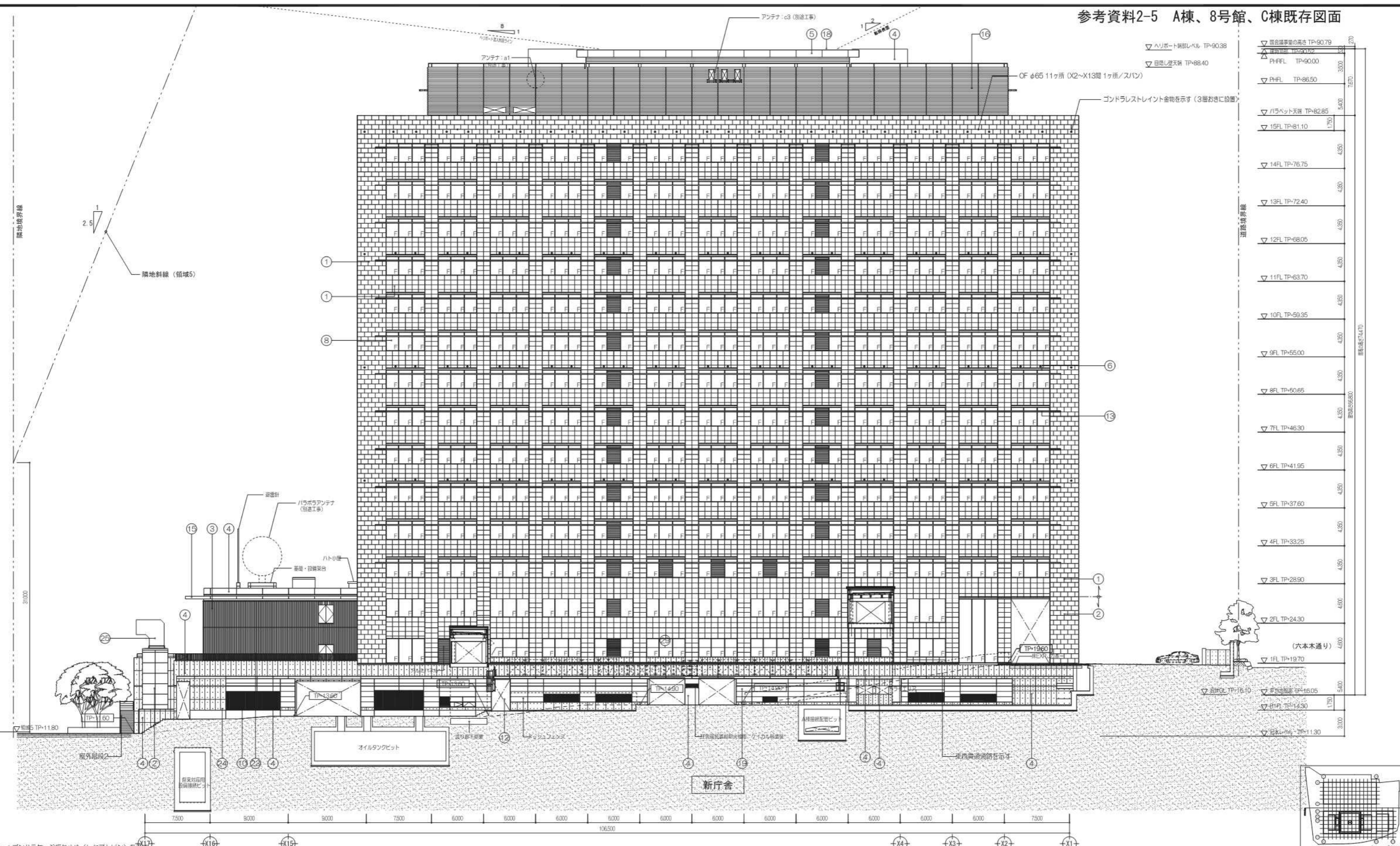
記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
①	外壁 外国産花崗岩打込PC型枠	⑥	水平庇(標準階高上) PC防水性シリケート塗装	⑩	アルミガラリ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑬	大庇 アルミ複合板 耐候性塗料焼付塗装	⑲	PC版頂部 ウレタン塗膜防水
②	外壁 外国産花崗岩(乾式貼り工法)	⑦	アルミカーテンウォール アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜 スチール方立 フッ素樹脂塗装	⑪	ステンレス建具 ステンレス化粧強化ガラス引分自動扉	⑭	有孔折板(既製品) ポリエステル樹脂粉体塗装	⑳	屋外階段 鉄骨造 溶融亜鉛めっき。手摺:スチール溶融亜鉛めっき リン酸処理
③	外壁 押出成形セメント板t60 フッ素樹脂塗装(リブ付)	⑧	基準階アルミサッシュ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑫	スチール建具 ボンチ橋板ジクロロメート処理 SOP 小庇付き	⑮	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	㉑	鉄骨柱 溶融亜鉛めっき
④	外壁 化粧打放しコンクリート 撥水剤塗布(ランテックスコート程度)	⑨	アルミサッシュ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑬	水平フィン アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜(ファインマットグレー) ※壁面遮光体兼用	⑯	笠木 アルミ型材(既製品) 陽極酸化塗装複合皮膜 ※避雷帯体兼用	㉒	手摺 スチール溶融亜鉛めっき リン酸処理
⑤	PC版 水性シリケート塗装			⑭	垂直フィン アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜(ファインマットグレー) ※壁面遮光体兼用	⑰	ALC版 防水型複合塗材E	㉓	手摺 スチール溶融亜鉛めっき

※仮設庁舎及び仮設倉庫は現状無いものとする。

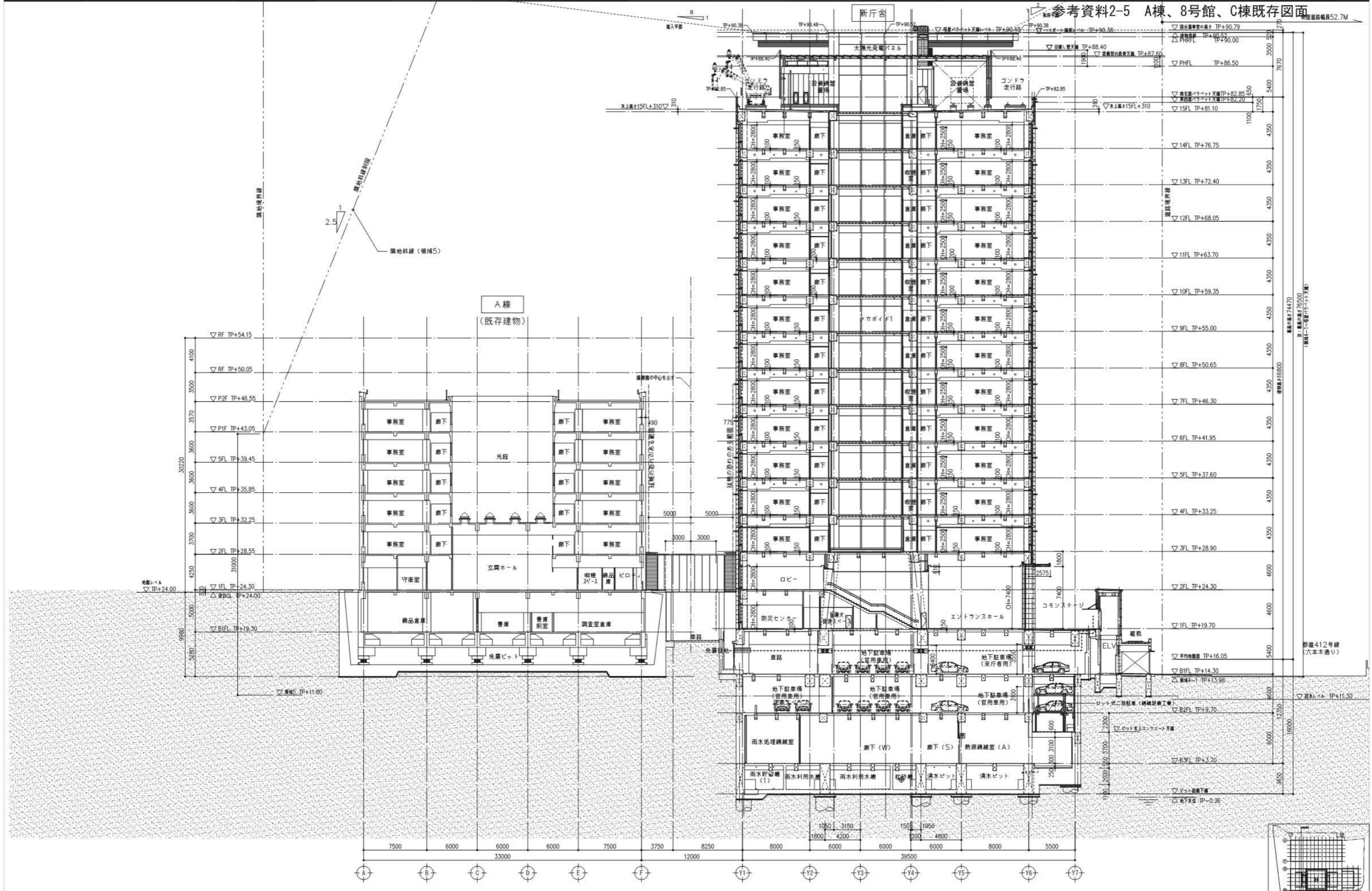
※ガラスはガラス厚案内図参照 ※外壁石種は石種案内図参照

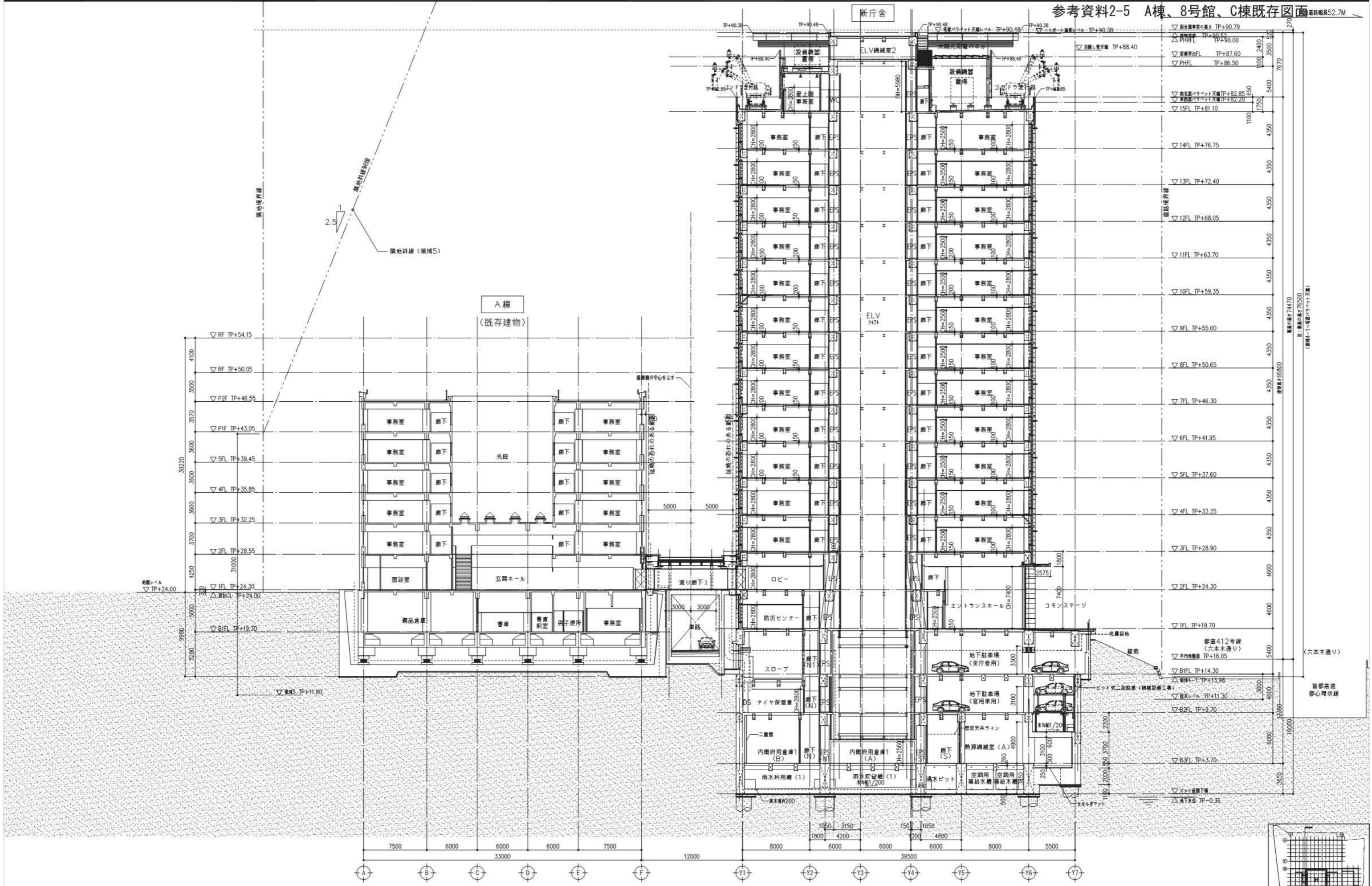
中央合同庁舎第8号館整備等事業
 新庁舎等
 実施設計図
 051
 東側立面図
 14.03.24
 1:200(A1)/1:400(A3)
 A-203
 355

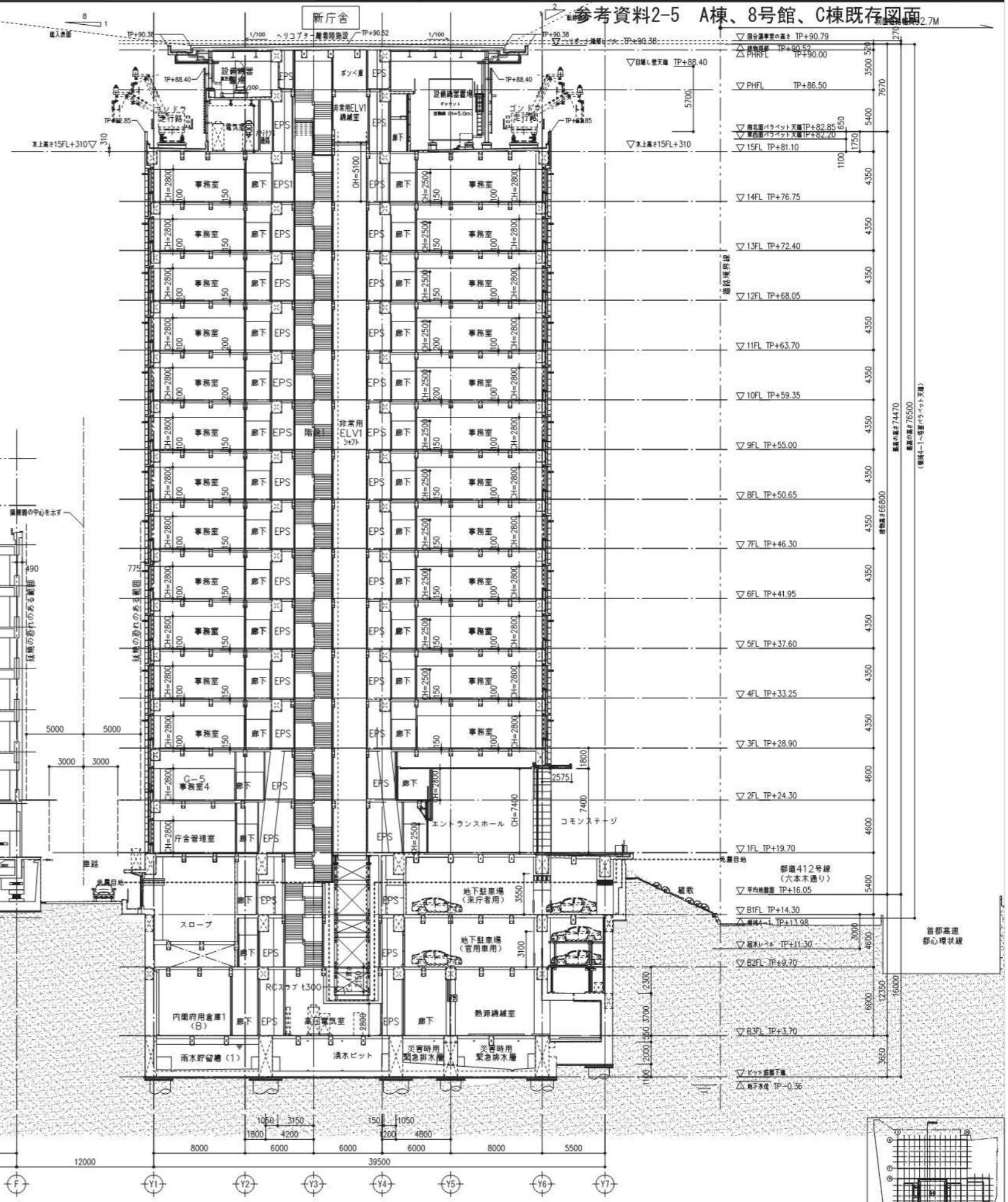
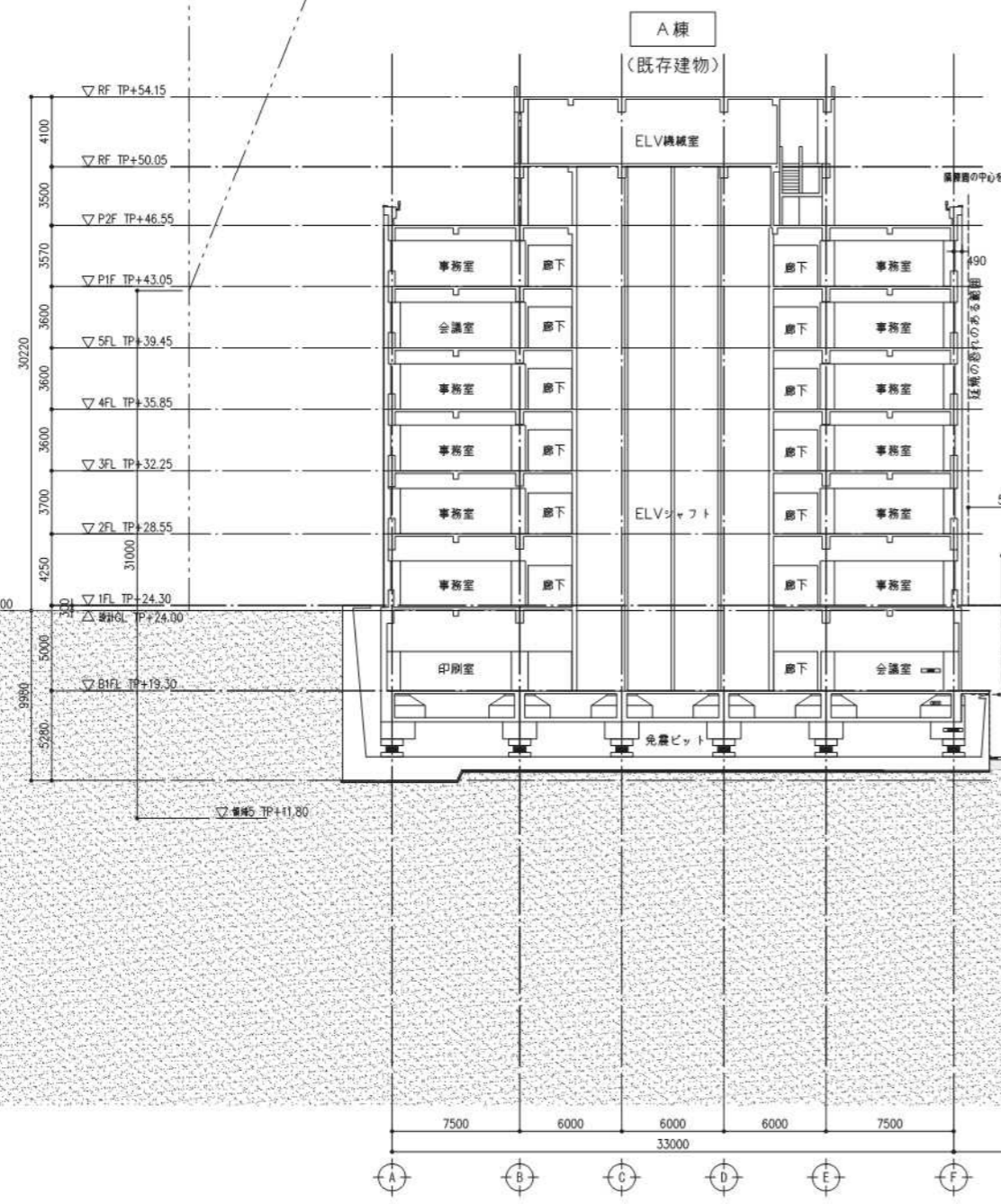
参考資料2-5 A棟、8号館、C棟既存図面

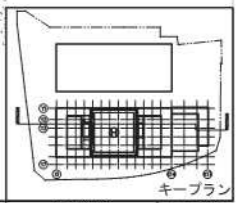
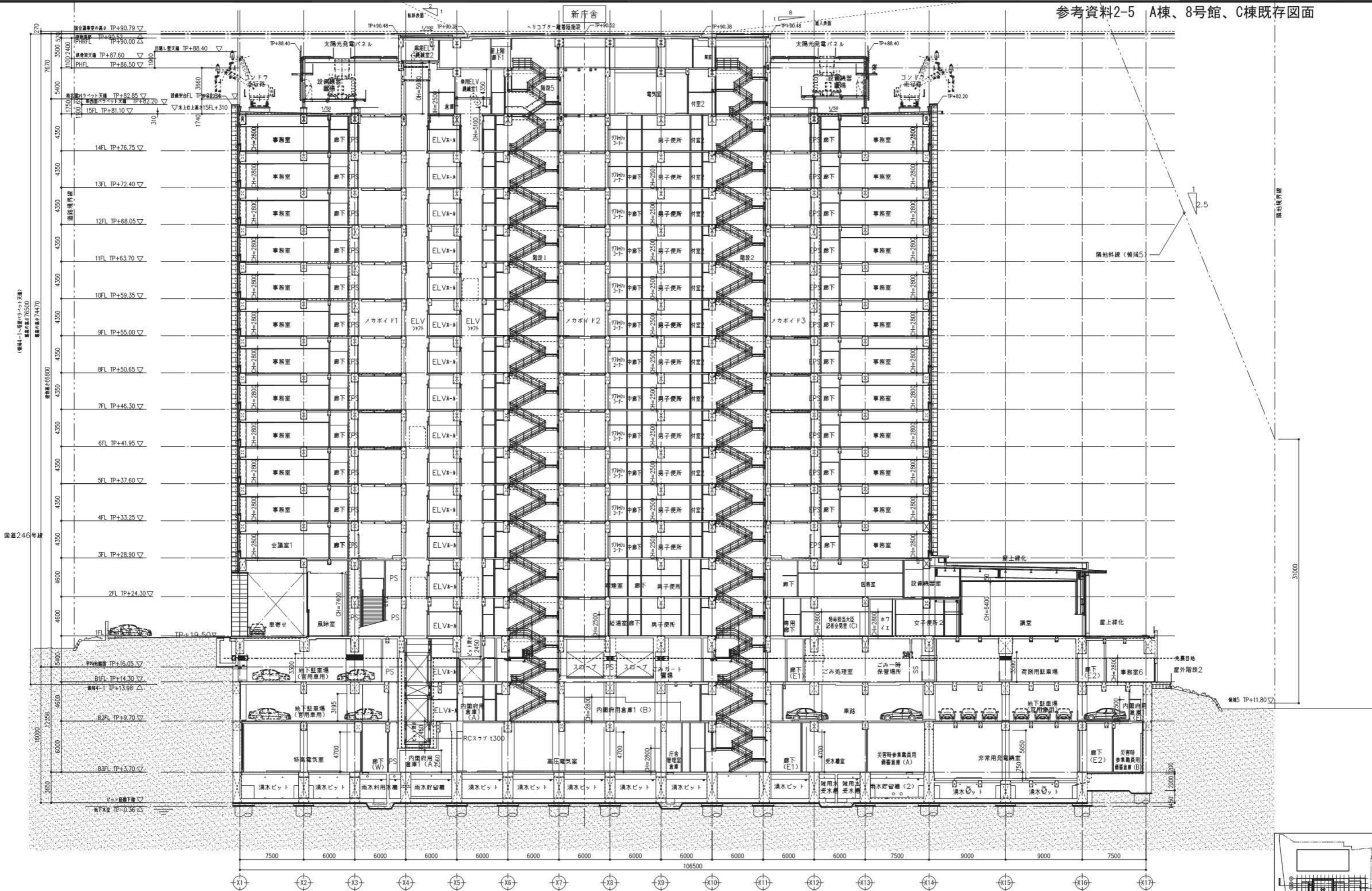


記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
①	外壁 外国産花崗岩打込PC型枠	⑥	水平窓 (基準階窓上) PC版水性シリケート塗装	⑩	アルミガラリ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑮	大庇 アルミ複合板 耐候性塗料焼付塗装	⑳	PC版頂部 ウレタン塗膜防水
②	外壁 外国産花崗岩 (乾式貼付工法)	⑦	アルミカーテンウォール アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜 スチール方立 フッ素樹脂塗装	⑪	ステンレス建具 ステンレス化粧強化ガラスSI分自動扉	⑯	有孔折板 (既製品) ポリエステル樹脂粉体塗装	㉑	屋外階段 鉄骨造 溶融亜鉛めっき。手摺: スチール溶融亜鉛めっき リン酸処理
③	外壁 押出成形セメント板 t60 フッ素樹脂塗装 (リブ付)	⑧	基礎階アルミサッシュ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑫	スチール建具 ボンデ鋼板シンクロメート処理 SOP 小庇付き	⑰	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	㉒	鉄骨柱 溶融亜鉛めっき
④	外壁 化粧打込コンクリート 撥水剤塗布 (ランデックスコート程度)	⑨	アルミサッシュ アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜	⑬	水平フィン アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜 (ファインマットグレー) ※壁面遮光体兼用	⑱	柱木 アルミ型材 (既製品) 陽極酸化塗装複合皮膜 ※遮光体兼用	㉓	手摺 スチール溶融亜鉛めっき リン酸処理
⑤	PC版 水性シリケート塗装			⑭	垂直フィン アルミ型材 着色陽極酸化塗装複合皮膜 (ファインマットグレー) ※壁面遮光体兼用	⑲	ALC版 防水型複合塗材E	㉔	手摺 スチール溶融亜鉛めっき

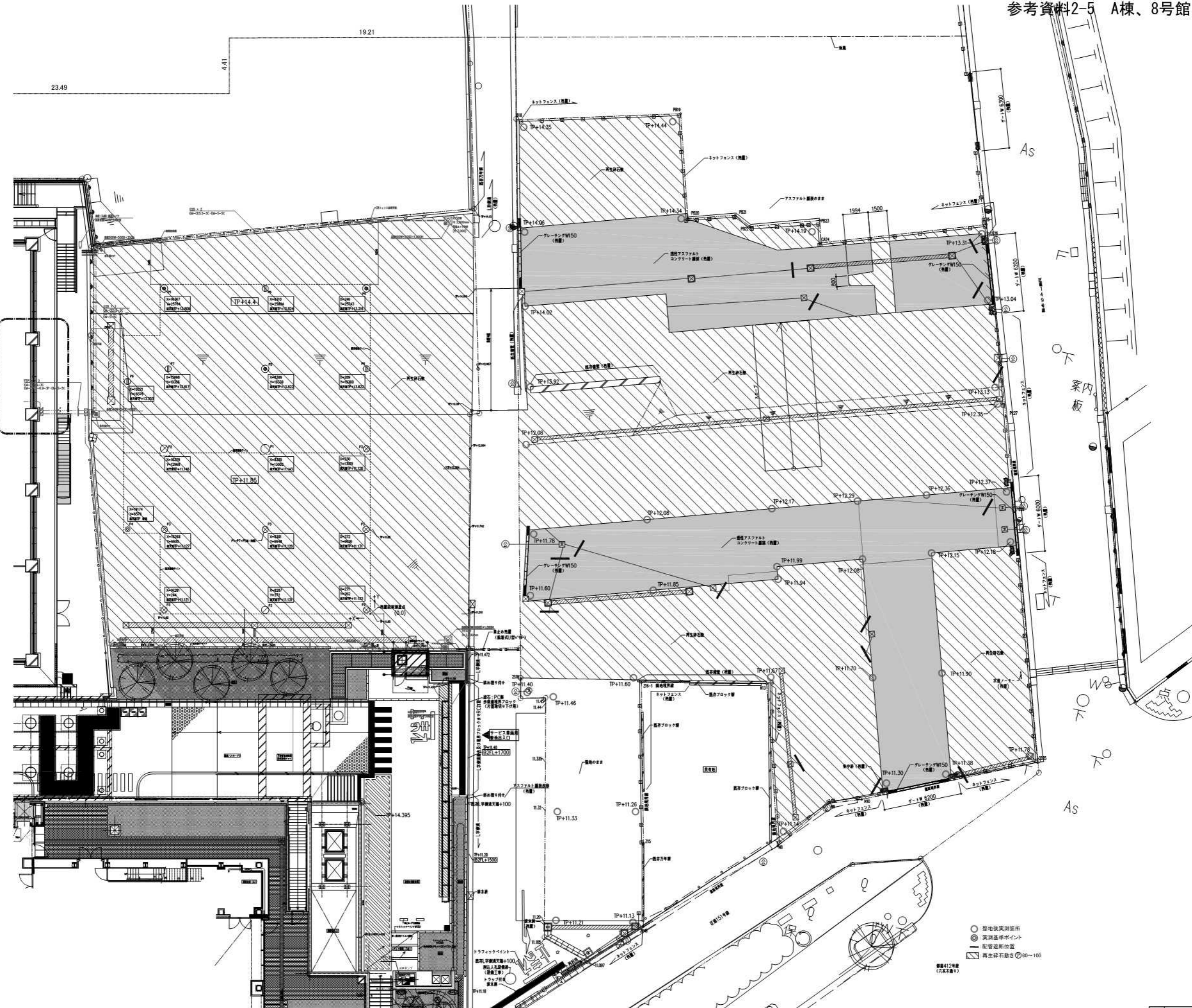






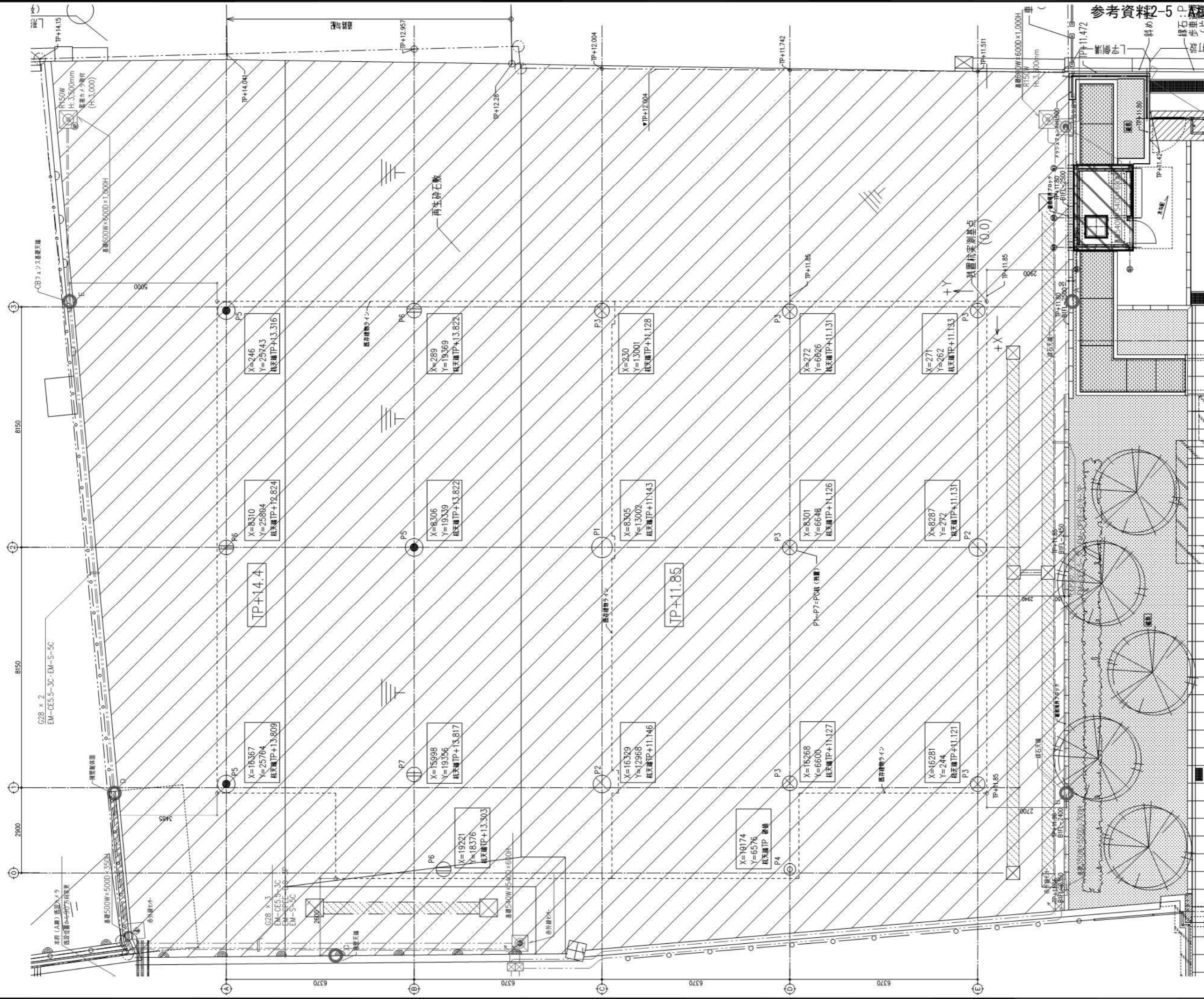


本府外壁廻り改修範囲
A-05図参照

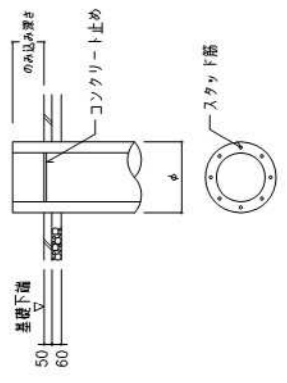


- 地盤調査測箇所
- 実測調査ポイント
- 配管廻り位置
- ▨ 再生砕石敷き ⑩~100

図名	中央合同庁舎第3号館	図番	A-01
所在	千代田区千代田1-6-1	図番の 名称	補修 17/150
調査 年月日	平成27年6月30日	調査者	官職又は資格 氏名 国土交通技官



符号	杭径(φ)	のみ込み
P1	700	100
P2	600	100
P3	500	100
P4	400	100
P5	600	100
P6	500	100

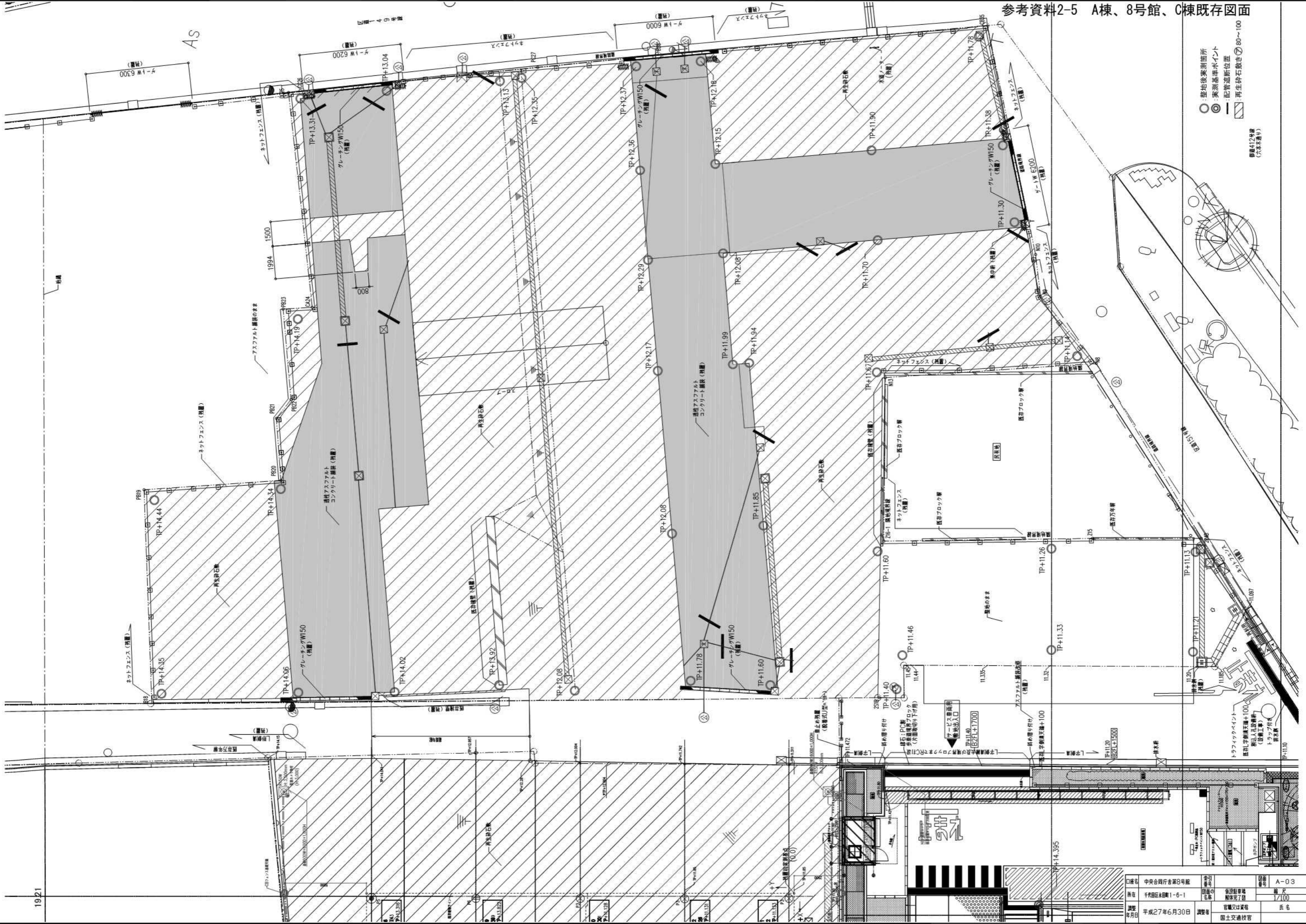


・施工方法は、NEWニューイング工法(杭間固定架使用)とする。
 ・杭間厚は、すべて、標準型とする。

杭仕様一覧表

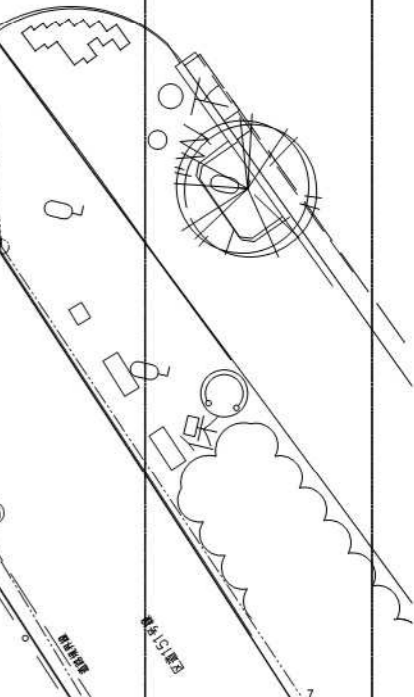
符号	杭径(φ)	長さ	上杭	下杭	長所許容抗力(KN)	杭本数
P1	700φ	長さ	MS-hi (A層) 10m	MS-hi (A層) 11m	2100	1
P2	600φ	長さ	MS-hi05 (C層) 10m	MS-hi (A層) 11m	1700	2
P3	500φ	長さ	DAM105 (A層-D22 (PRC=6m)) 10m	MS-hi (A層) 11m	1300	6
P4	400φ	長さ	DAM105 (A層-D22 (PRC=5m)) 10m	MS-hi (A層) 11m	900	1
P5	600φ	長さ	DAM105 (A層-D29 (PRC=9m)) 12m	MS-hi (A層) 12m	1900	3
P6	500φ	長さ	DAM105 (A層-D25 (PRC=7m)) 12m	MS-hi (A層) 12m	1400	4

図名	中央合同庁舎第3号館	図面番号	A-02
所在	千代田区丸の内1-9-1	図面の名称	橋、8号館、C棟既存図面
調査年月日	平成27年9月30日	調査者	国土交通技官
		氏名	

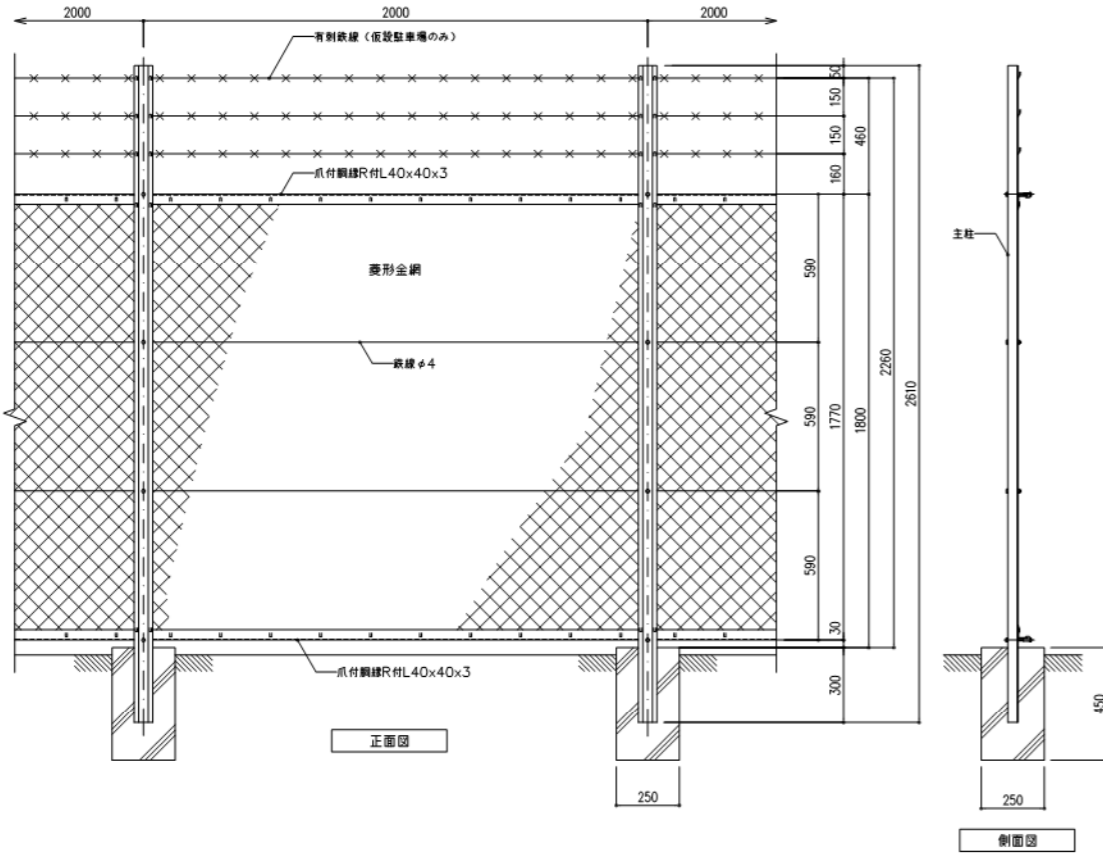


- 現地後家測箇所
- 実測基準ポイント
- 応答断面位置
- ▨ 再生砕石敷き⑦80~100

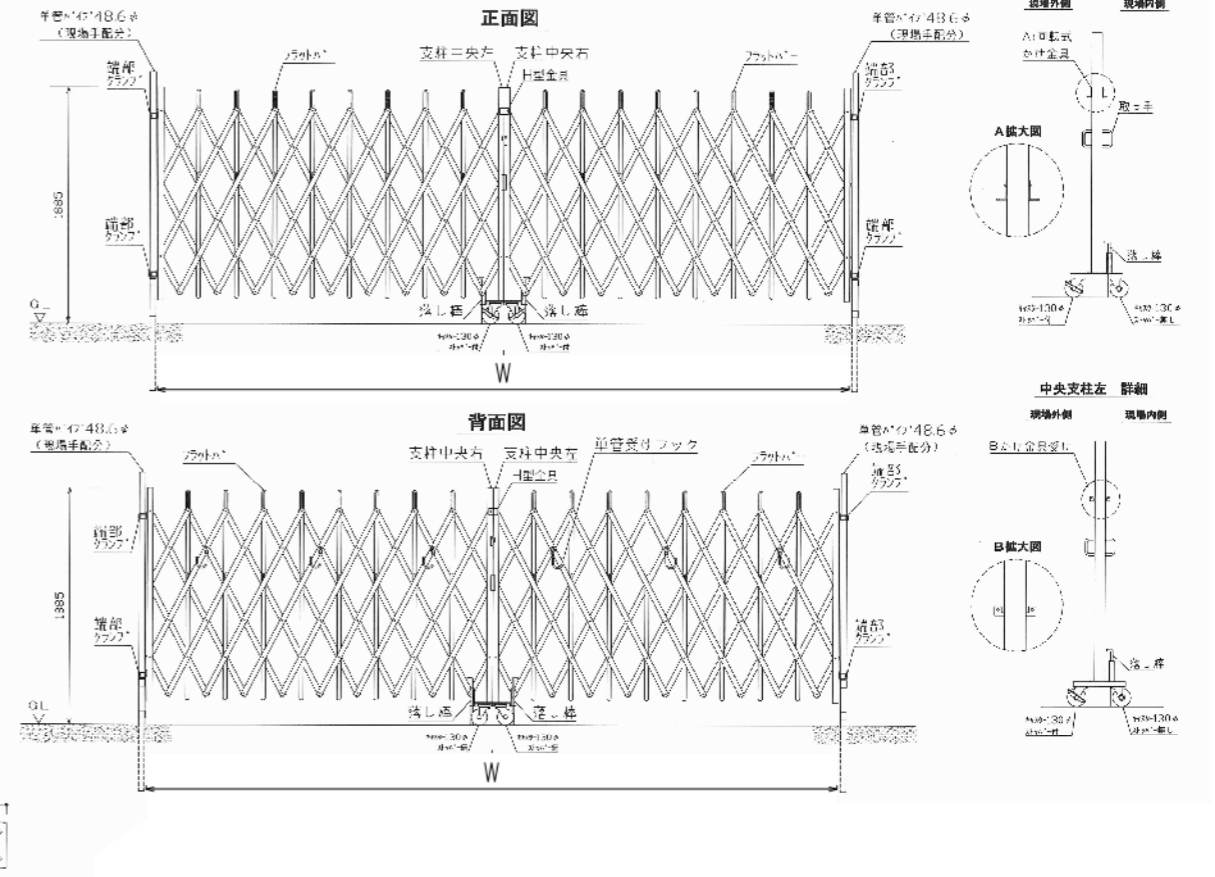
備考412号線
(不本誌発行)



図名	中央合同庁舎第3号館	図号	A-03
所在	千代田区永田町1-6-1	縮尺	1/100
調査年月日	平成27年6月30日	調査者	官職又は資格 国土交通技官
氏名			

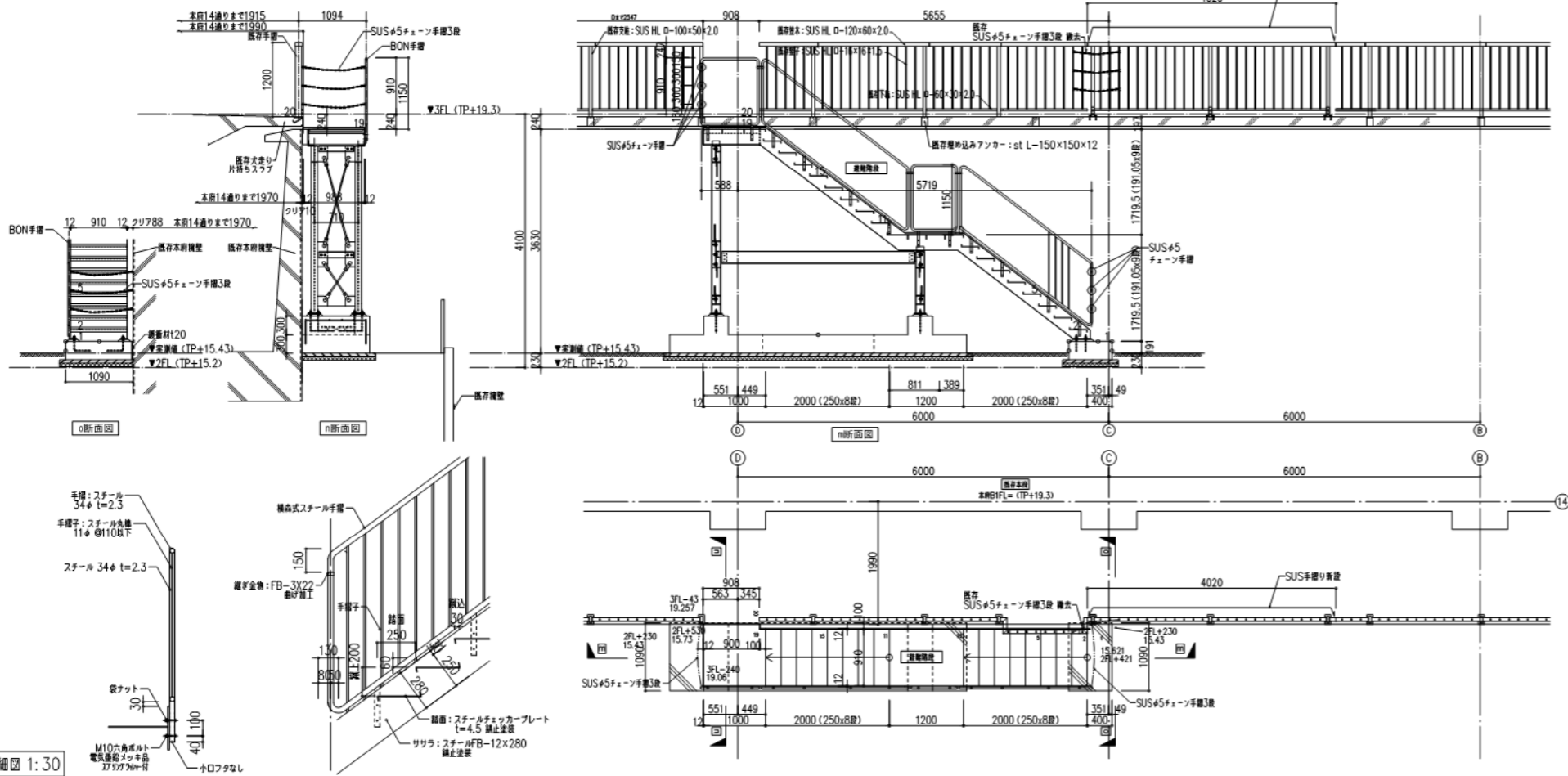


ストロングゲート SRG4-54 (両)



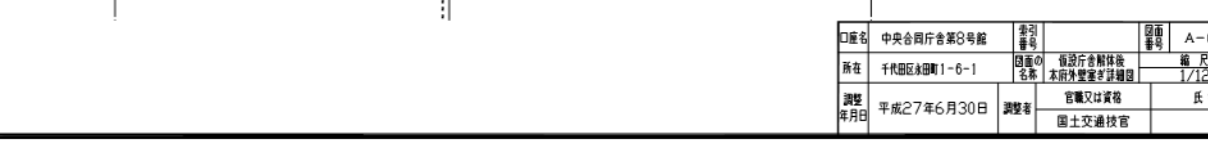
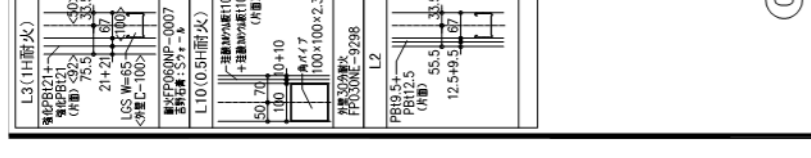
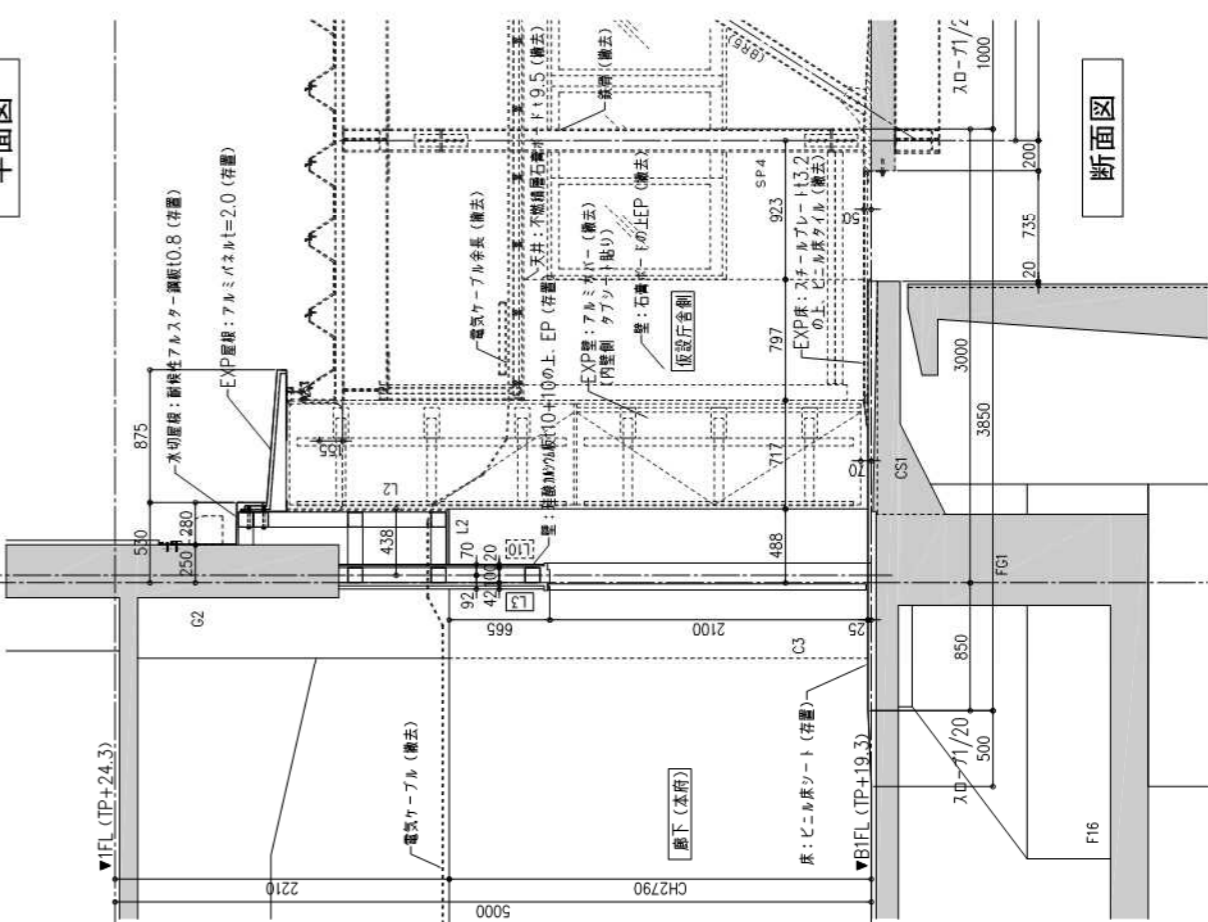
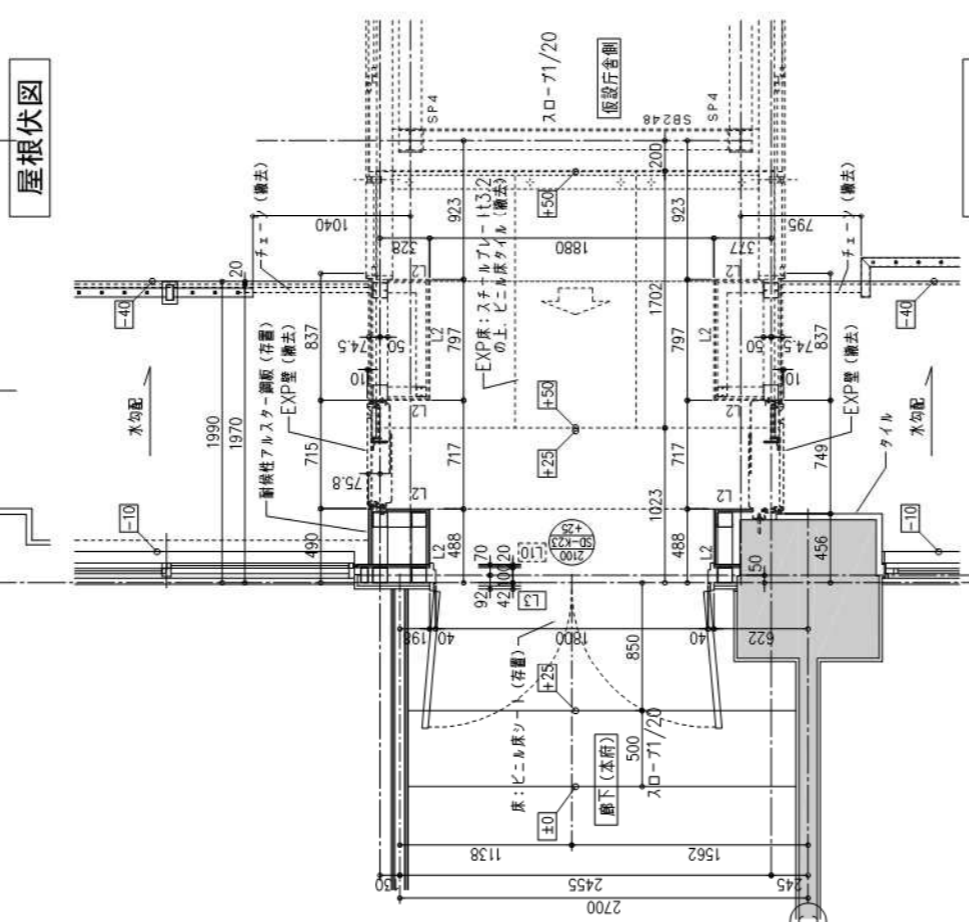
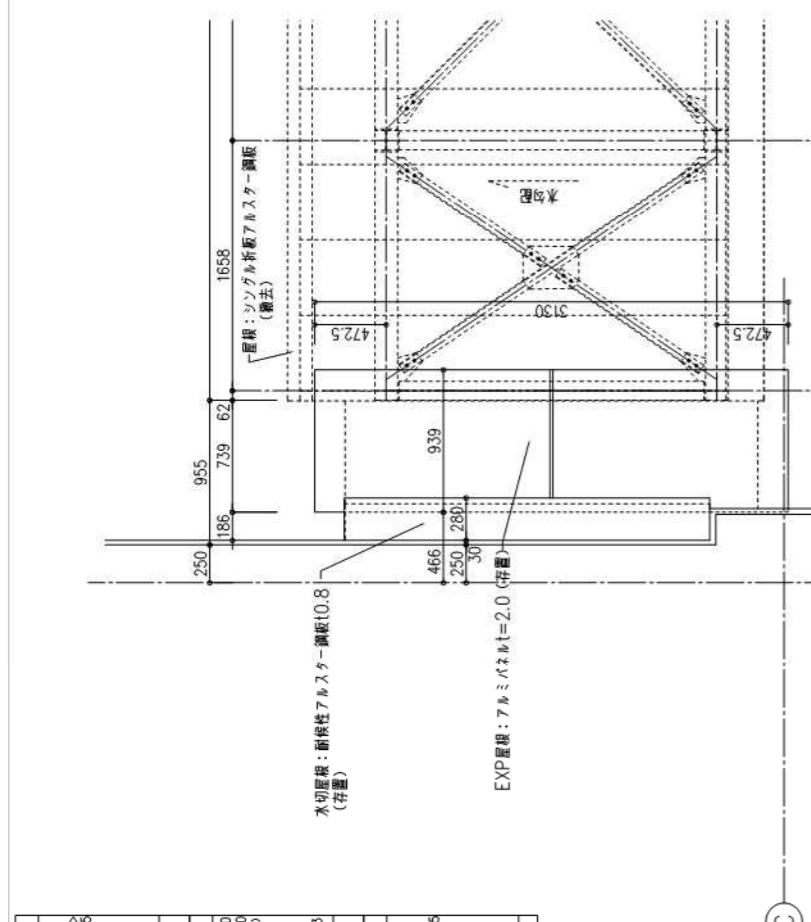
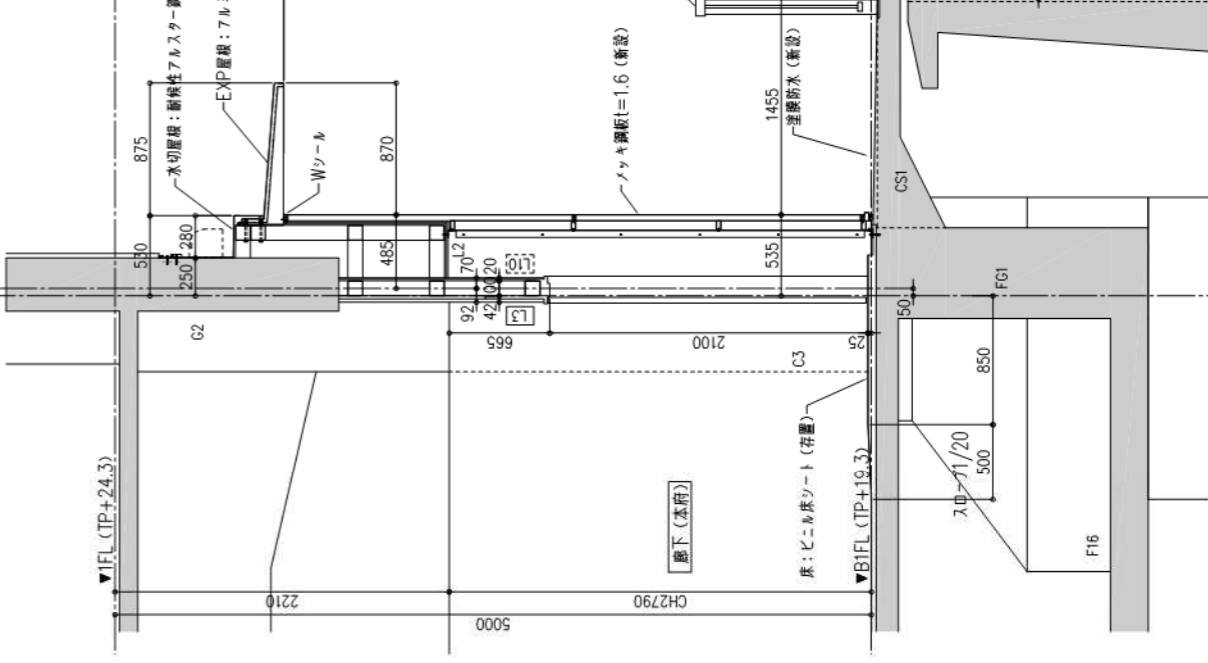
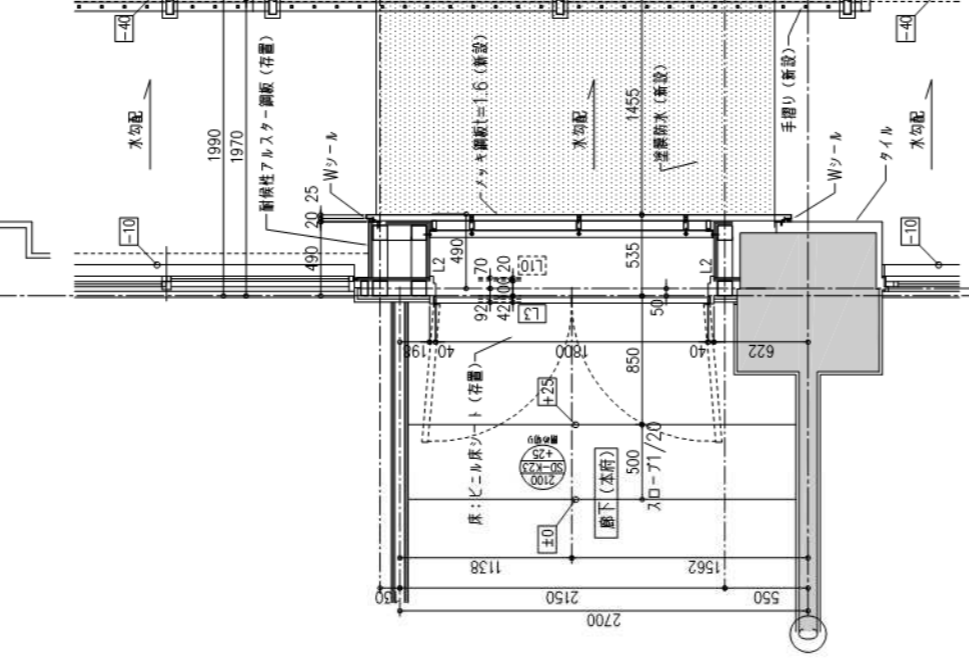
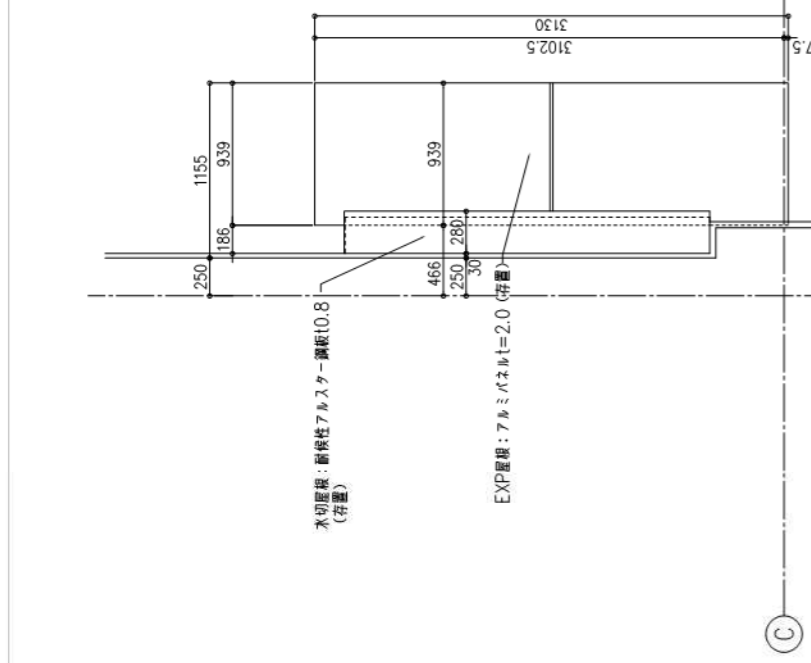
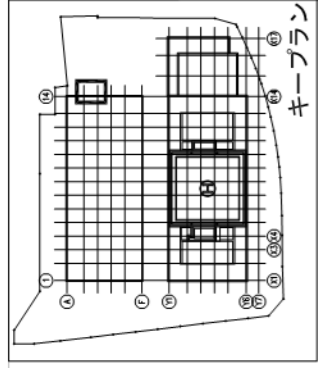
本府避難階段

1:50



部分詳細図 1:30

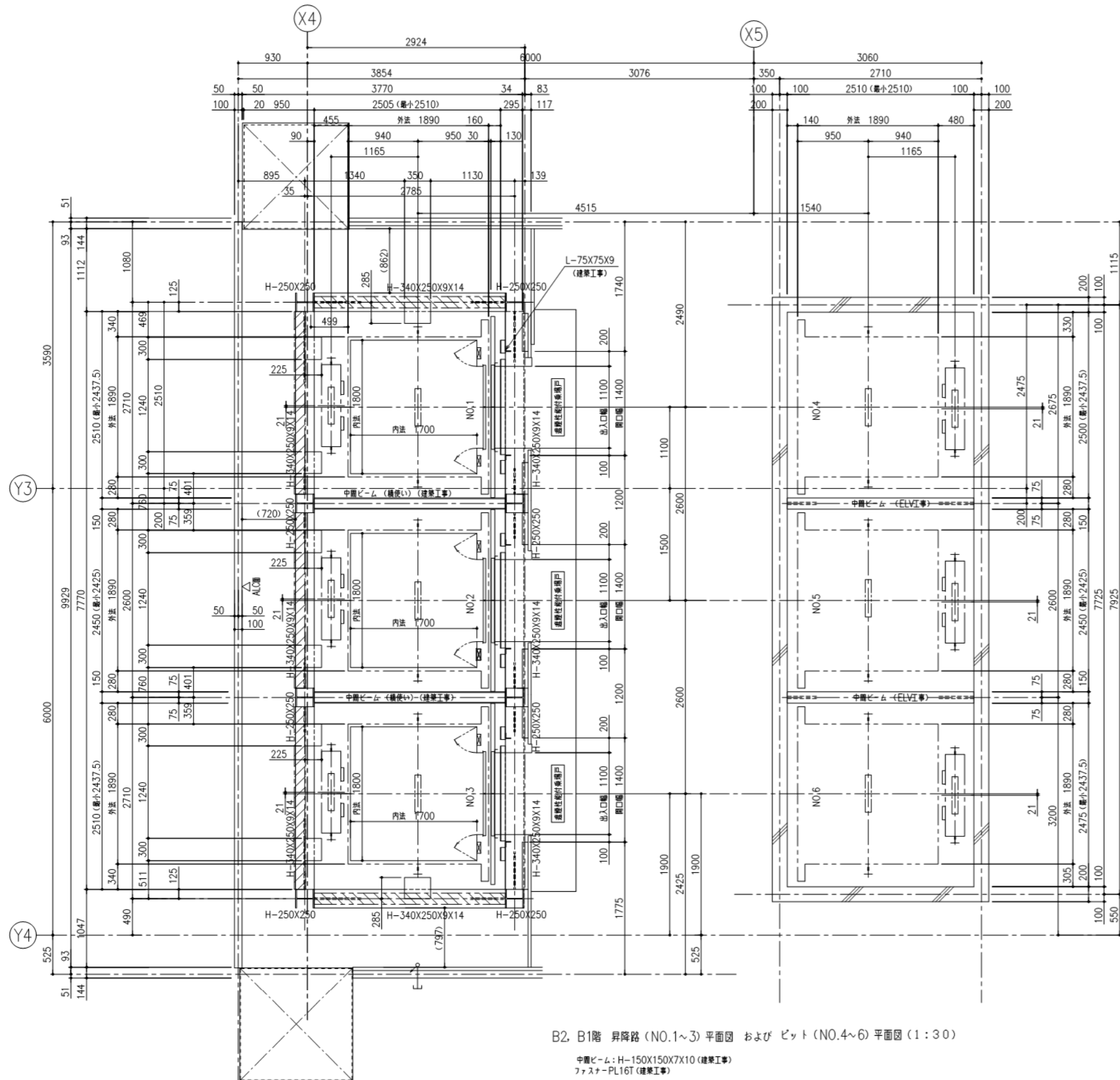
口番	中央合同庁舎第3号館	番	1	図番	A-04
所在	千代田区水町1-6-1	図番	1-6-1	図名	鋼製伸縮門扉
調整	平成27年6月30日	調整者	官職又は資格	氏名	国土交通技官



L3 (IH耐火)

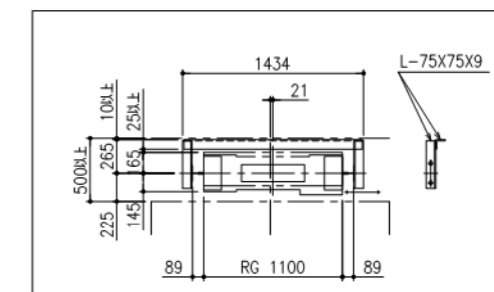
規格PB121	規格PB122	規格PB123	規格PB124
規格PB125	規格PB126	規格PB127	規格PB128
規格PB129	規格PB130	規格PB131	規格PB132
規格PB133	規格PB134	規格PB135	規格PB136
規格PB137	規格PB138	規格PB139	規格PB140
規格PB141	規格PB142	規格PB143	規格PB144
規格PB145	規格PB146	規格PB147	規格PB148
規格PB149	規格PB150	規格PB151	規格PB152
規格PB153	規格PB154	規格PB155	規格PB156
規格PB157	規格PB158	規格PB159	規格PB160

図名	中央合同庁舎第3号館	図番	A-05
所在	千代田区永田町1-6-1	縮尺	1/120
調整年月日	平成27年6月30日	調整者	国土交通技官
		氏名	



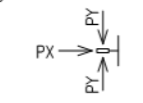
B2, B1階 昇降路 (NO.1~3) 平面図 および ピット (NO.4~6) 平面図 (1:30)

中間ビーム: H-150X150X7X10 (建築工事)
 ファスター: PL16T (建築工事)
 中間ビーム: H-150X150X7X10 (ELV工事)



タイプブラケット取付図

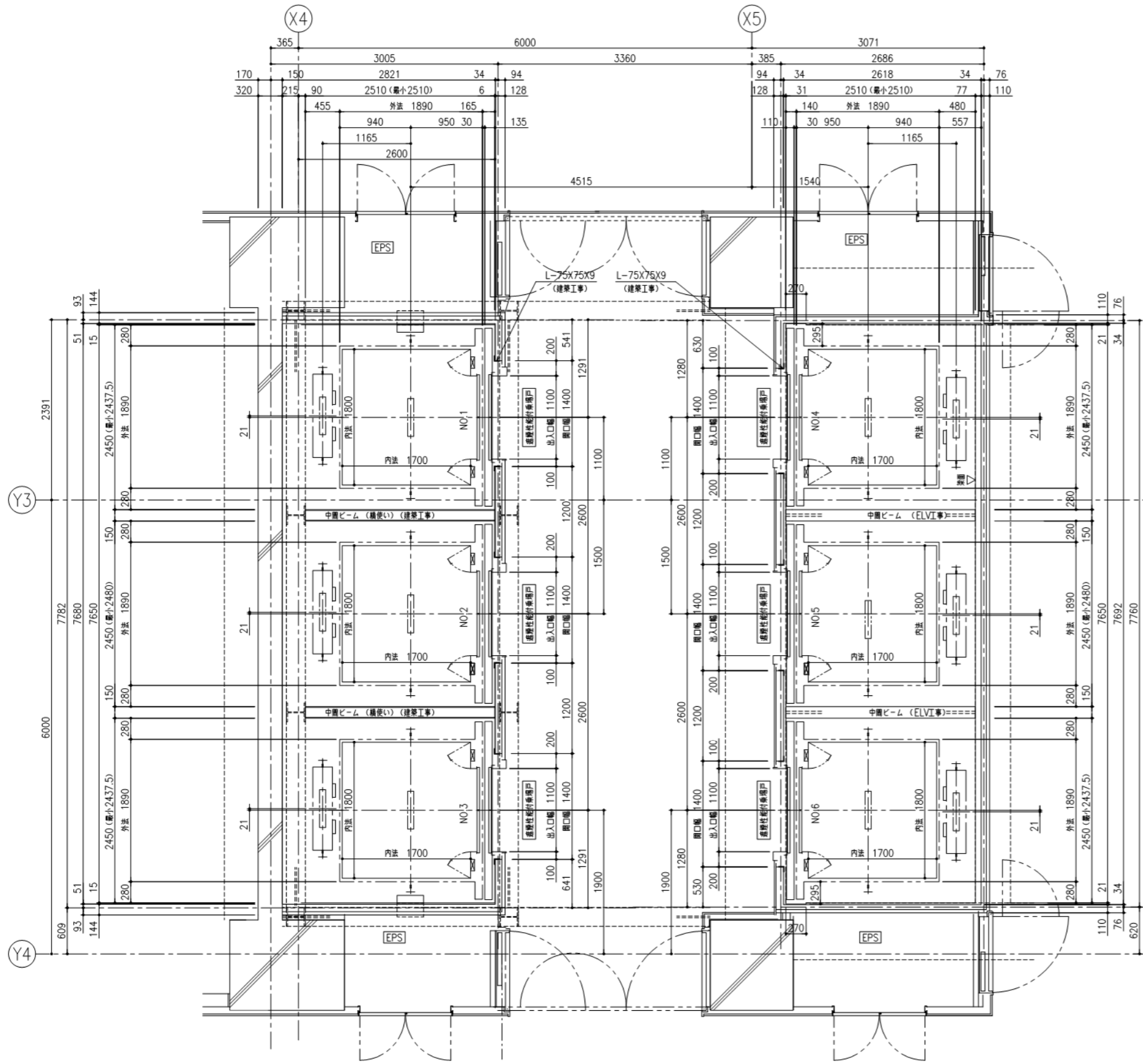
耐震クラス: S09



ガイドレール 部分荷重 (N)	かご側		ウェート側	
	PX	PY	PX	PY
NO.1~6	11800	5900	17300	8650

注) 上記荷重により柱及びはりのたわみは5mm以下になるよう部材を設計下さい

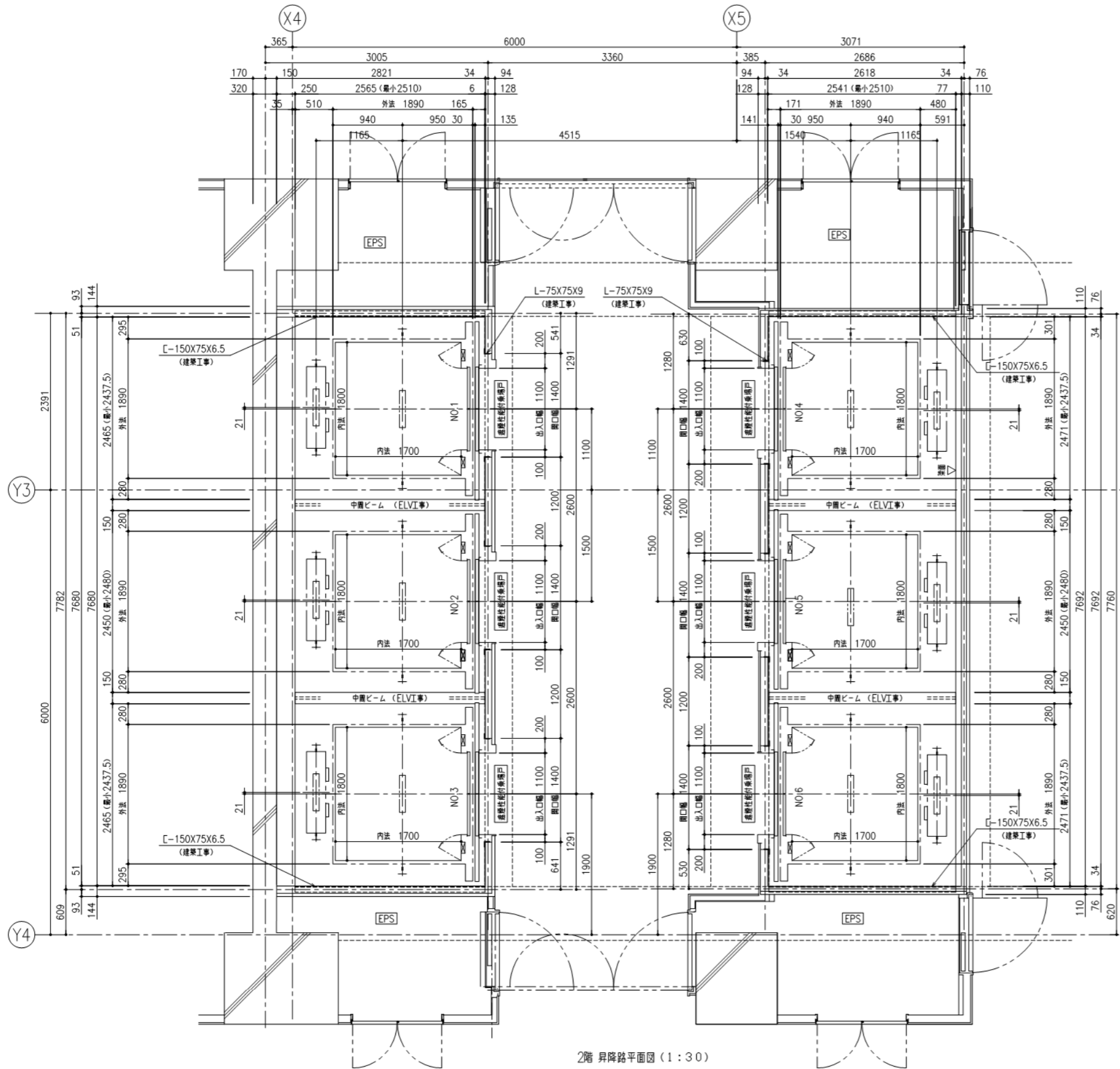
地震時建物に掛る荷重



1階 昇降路平面図 (1:30)

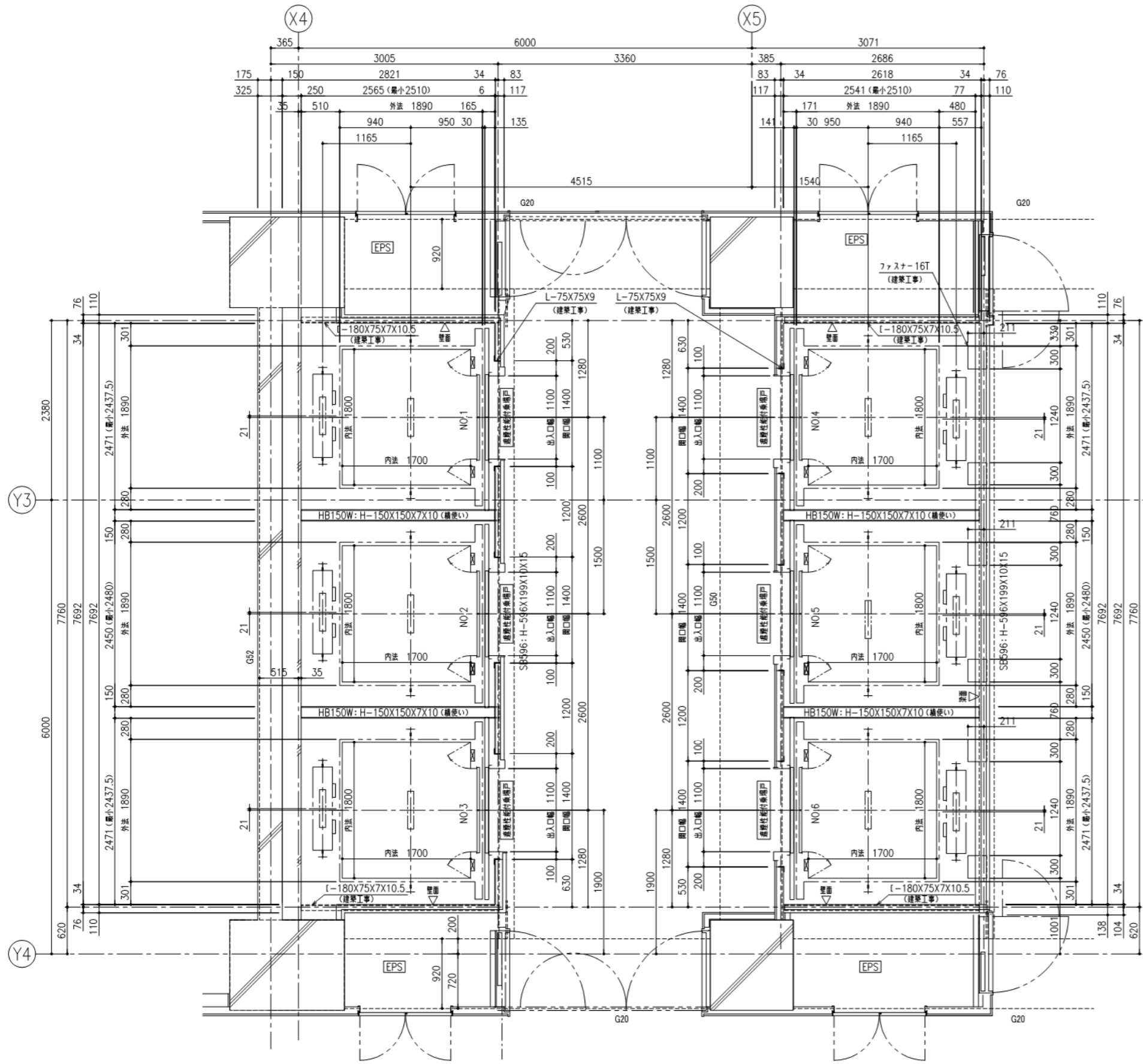
中間ビーム: H-150X150X7X10 (ELVI事) (NO.4~6 ビット部のみ)
 中間ビーム: H-150X150X7X10 (建築工事)

中央合同庁舎第8号館整備等事業	新庁舎等	Me-105
	完成図	391
	エレベーター詳細図(3)	414
	目付 14.03.24 縮尺 2-5 1:30(A1)/1:60(A3)	



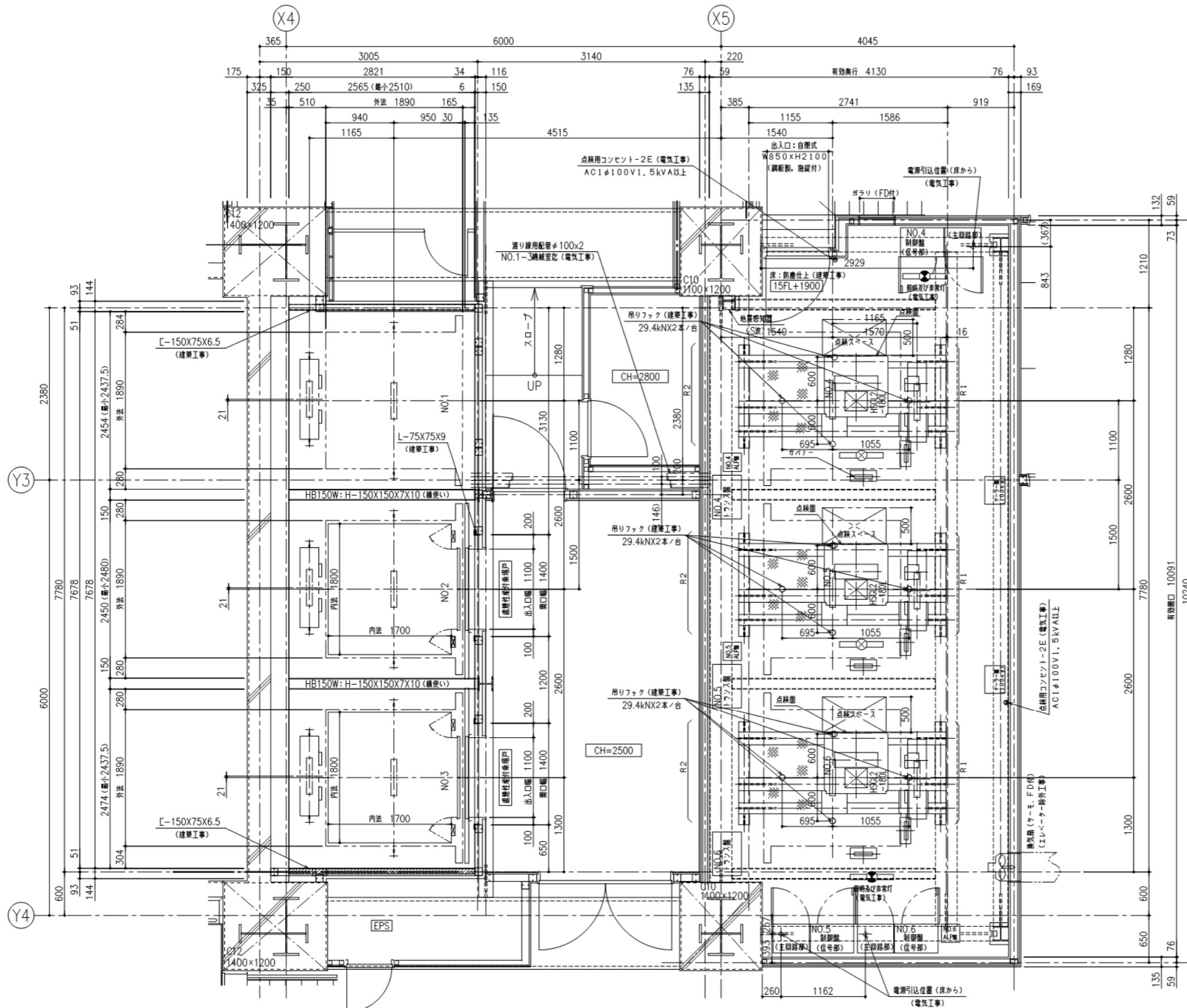
2階 昇降路平面図 (1:30)
 中層ビーム: H-150X150X7X10 (ELVI事)

	中央合同庁舎第8号館整備等事業	新庁舎等	Me-106
		完成図	392
		エレベーター詳細図(4)	414
		目付 14.03.24 縮尺 2-5 1:30(A1)/1:60(A3)	



3~14階 昇降路平面図 (1:30)

				中央合同庁舎第8号館整備等事業	新庁舎等	Me-107
				エレベーター詳細図(5)	完成図	393
					目付 14.03.24	414
					縮尺 2-5 1:30(A1)/1:60(A3)	



15階 昇降路 (NO.1~3) 平面図 および
機械室 (NO.4~6) 平面図 (1:30)
中間ビーム: H-150X150X7X10 (ELV工事)
注) 換気設備は別途打合せ下さい。

マシンフック用スベア設置部分にはプレス
を設けないこと。(床面から1.2m以内に設ける
場合には、別途打合せ下さい)

全反力 (N) 本反力は一台分を示す

号機名	NO.4~6
R1	134000
R2	71000

工事区分表				
号機名	NO.7	項目	工事名	建築 電気 空調 ELV
昇降路	NO.7	1	昇降路の築造と改修工事 1) 壁または天井は降塵なまものとする 2) 昇降路の壁又は天井及び出入口の戸は、任意の5cmの間にこれと垂直な方向の300mmの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形や塑性変形が生じないこと	○
		2	各階出入口まわり壁の穴あけ工事 (出入口、押しボタン、かご位置表示灯など)	○
		3	エレベーター扉付後の壁、床、天井仕上げ補修工事	○
		4	三方枠、インジケータなど調整のすまき工事	○
		5	三方枠、インジケータなど調整のすまき工事	○
		6	ビット内防水仕上げ工事	○
		7	ビット仕上げ面の水平度は1/200以下	○
		8	ビットが深い場合の埋め戻し工事	○
		9	ビット点検用クランプまたは梯子の設置工事	○
		10	ビット点検用コンセント設置工事	○
		11	インターホンならびにその他の機器の配管、配線工事 (配線サイズ、本数は電気設備による)	○
		12	昇降路内の受電制御盤への動力電源、照明電源および接地線の引き込みならびに接地工事 (配線サイズ、本数は電気設備による)	○
		13	昇降路頂部の煙感知器の設置工事(昇降路外部から保守点検可能な構造) (点検高は、1.5m以上の設置高を要する)	○
		14	リモートメンテナンス用としてMDF(電話端子盤)から昇降路内設置の遠隔監視装置までの電話線用配管配線 (配線サイズ、本数は電気設備による)	○
		15	昇降路出入口側内壁(敷居下および出入口上部)とかご前壁が125mm以上離れる場合のフェッシャプレート設置工事	○
		16	昇降路内の中間ビーム設置工事(コンクリート階)	○
		17	昇降路内の中間ビーム設置工事(鉄骨階)	○
		18	三方枠、敷居、ホールボタン、インジケータなどの固定用鋼材設置工事	○
		19	レールフック、フックハンガリ取り付け用鋼材の設置及び錆止塗装工事	○
		20	併設されたエレベーターの最下階が異なる場合のビット内防水切り設置工事	○
		21	不停止階の昇降路出入口の設置工事 (階行中129条の7による)	○
		22	かご用レールケーブル設置時のビット排水管工事	○
		23	昇降路頂部に吊りビーム設置工事	○
		24	監視盤用配管配線(詳細は監視盤仕様書参照)	○
		25	昇降路頂部の煙感知器点検口ELV連動スイッチ	○
		26	Fアマゾン点検口の設置工事	○
その他	NO.7	1	エレベーター部品搬入経路の確保	○
		2	エレベーター扉付工事用の水、砂、セメントなどの供給	○
		3	エレベーター扉付工事現場事務所および材料置場の確保	○
		4	エレベーター扉付工事および運転調整用電力ならびに本設電源に切り替え後の運転調整用電力	○
		5	医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの電源とエレベーター動力電源の電力系統分離工事	○
		6	エレベーター工事使用の場合の出入口およびかご内養生工事	○
		7	エレベーター工事使用後の調整費用	○
		8	昇降路内仮設足場の設置工事	○
		9	昇降路と居室が隣接する場合の居室制音工事	○
		10	エレベーター承認と躯体が異なる場合の手直し	○
11	屋内塗装仕上げ	○		
12	昇降路がガラスの場合の養生施工	○		
13	ALC壁目地の補修、セパボルトの撤去	○		
14	政府独立柱の設置工事(地震時の引っかけ防止)	○		
15	出入口への雨水対策	○		
16	乗場出入口の遮扉戸	○		
17	放送(一般・非常)用配管配線 引込み位置:昇降路	○		
18	自家用の高圧電源測用接点の支給 引込み位置:昇降路・監視盤	○		
19	火災時警報用接点の支給 引込み位置:昇降路・監視盤	○		
20	消防カメラ用同軸ケーブルの配線 引込み位置:制御盤	○		
21	乗場の防火シャッター連動接点(C接点)支給	○		

電気設備				
号機名	NO.7	項目	仕様	数量
動力用電源	NO.7	AC 3φ 400V 50Hz 線サイズ×1回路 (CVD)	線サイズ (mm ²)	14 3φ 60
		最大引出距離 (m)	707 1188 1736	
		MCB容量	30A	
		トランス容量	5kVA	
照明用電源	NO.7	AC 1φ100V 50Hz 2.6mm ² ×1回路 2.0kVA		
アース線	NO.7	2mm ² (C線)		
インターホン用配管配線	NO.7	FCPEV 0.9-7P		
リモートメンテナンス用配管配線	NO.7	CPEV 0.9-1P、配管サイズφ25		
ビット点検用コンセント	NO.7	AC 100V 1.5kVA以上×1個 (最下階FL+200の出入口付近に設置)		
火災警報用無線電圧の接点支給及び配管配線 (監視盤に引込み)	NO.7			
一般非常放送用スピーカ用配管配線	NO.7	HP 1.2-3C		
監視盤用配管配線	NO.7	FCPEV 0.9-25P×1		
クーラー用電源	NO.7	エレベーター動力電源から供給		

注意事項 上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み
上記の配管配線はエレベーターの電工前までに本設配線で行込み

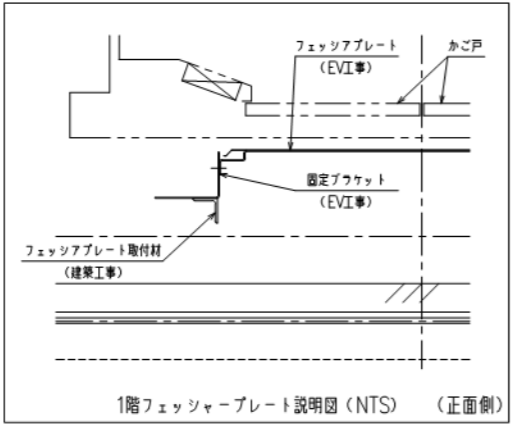
労基法適用 (本設用) : ○=設置要=設置要=設置要=○

耐震クラス: S09

ガイドレール	かご側		フェルト側	
部分質量 (N)	PX	PY	PX	PY
NO.7	8750	5350	13450	6750

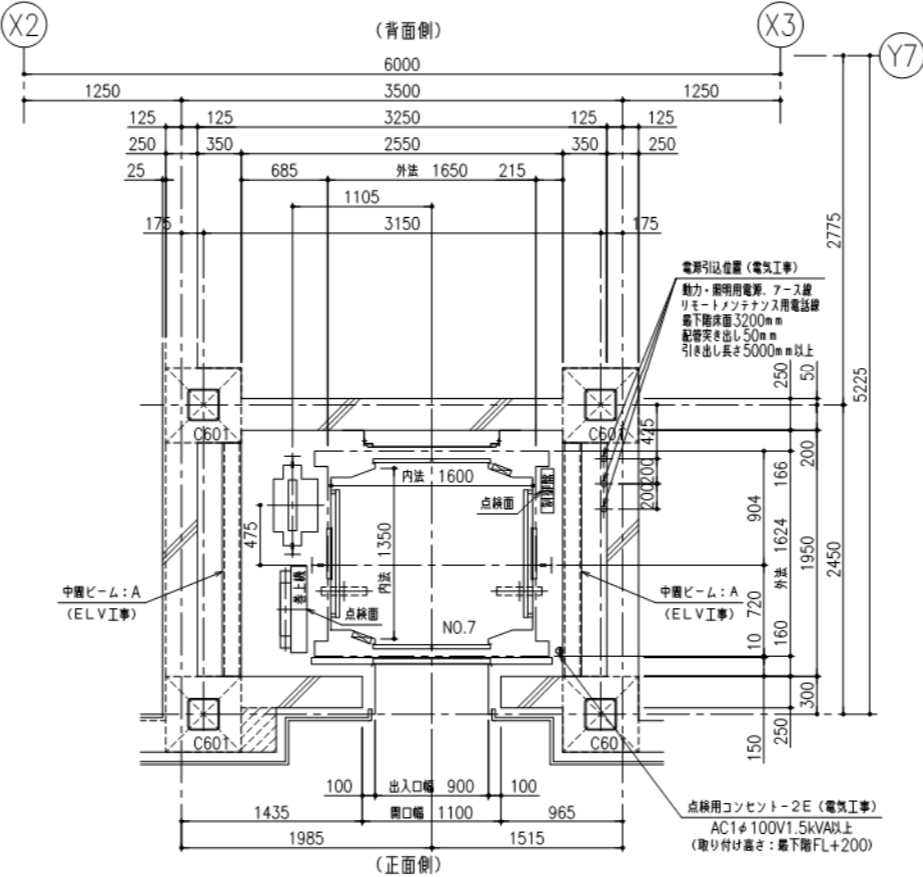
注) 上記質量により柱及びはりのたわみは5mm以下になるよう部材を設計下さい

地震時建物に掛る荷重

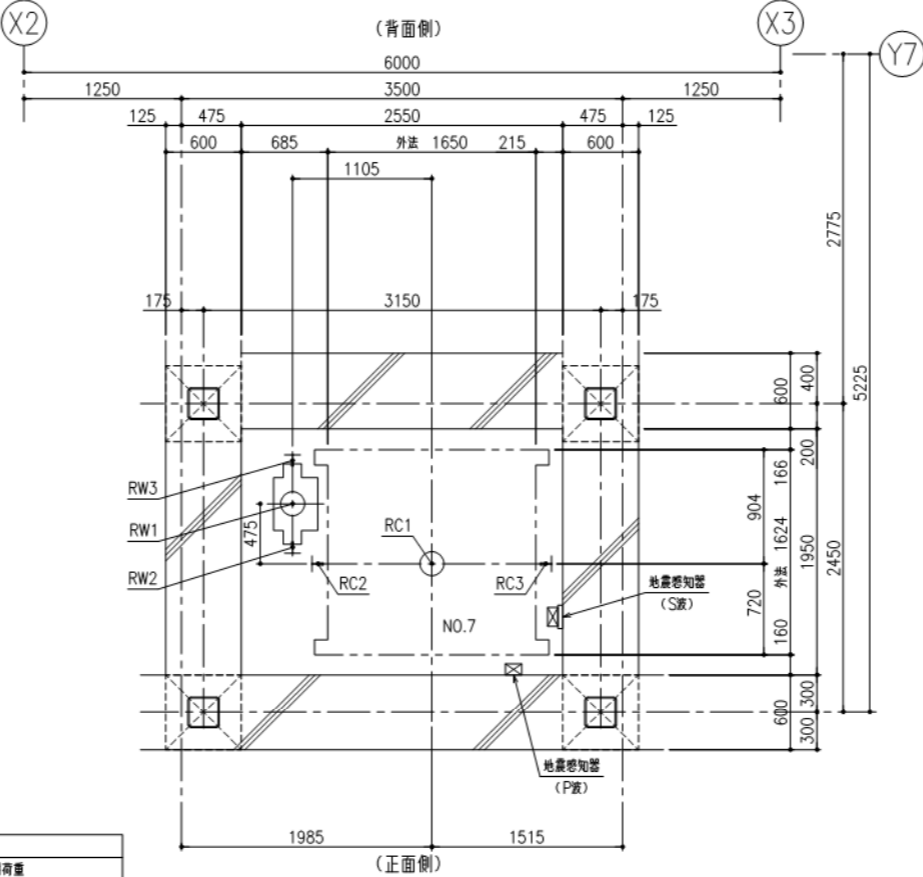


ビット反力値 (N)

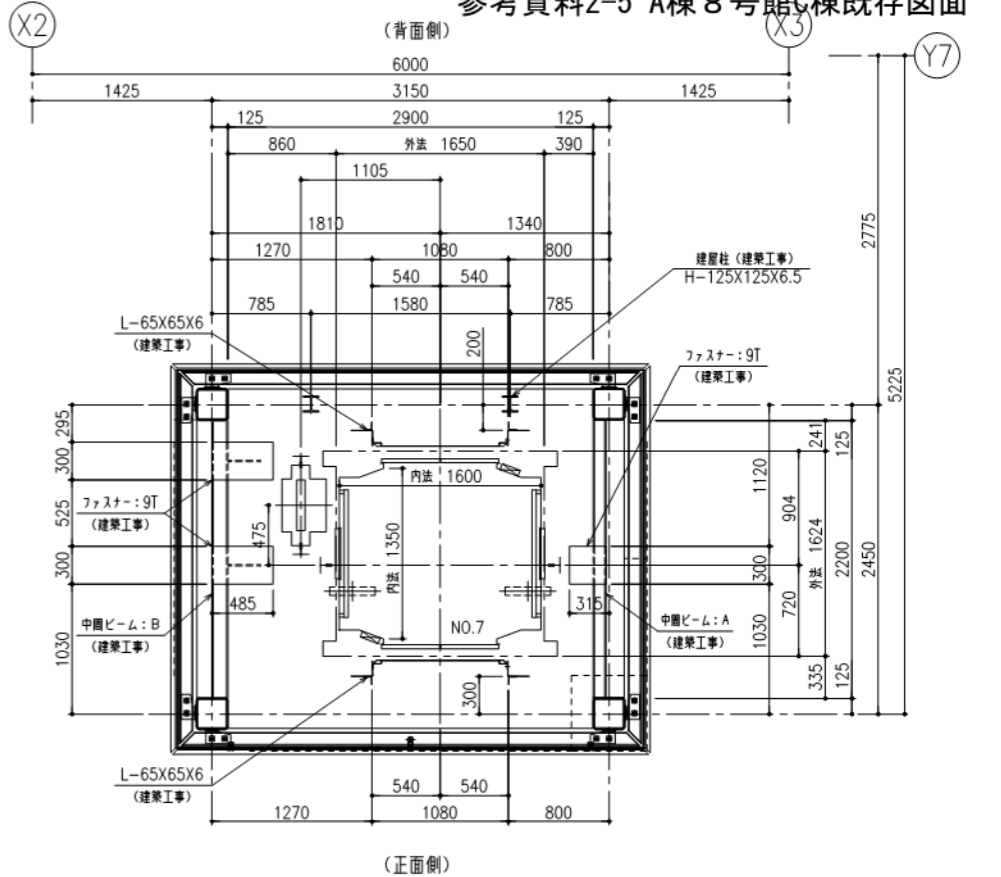
NO.7						
短期荷重	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
長期荷重	78000	81500	28500	29000	43000	11000



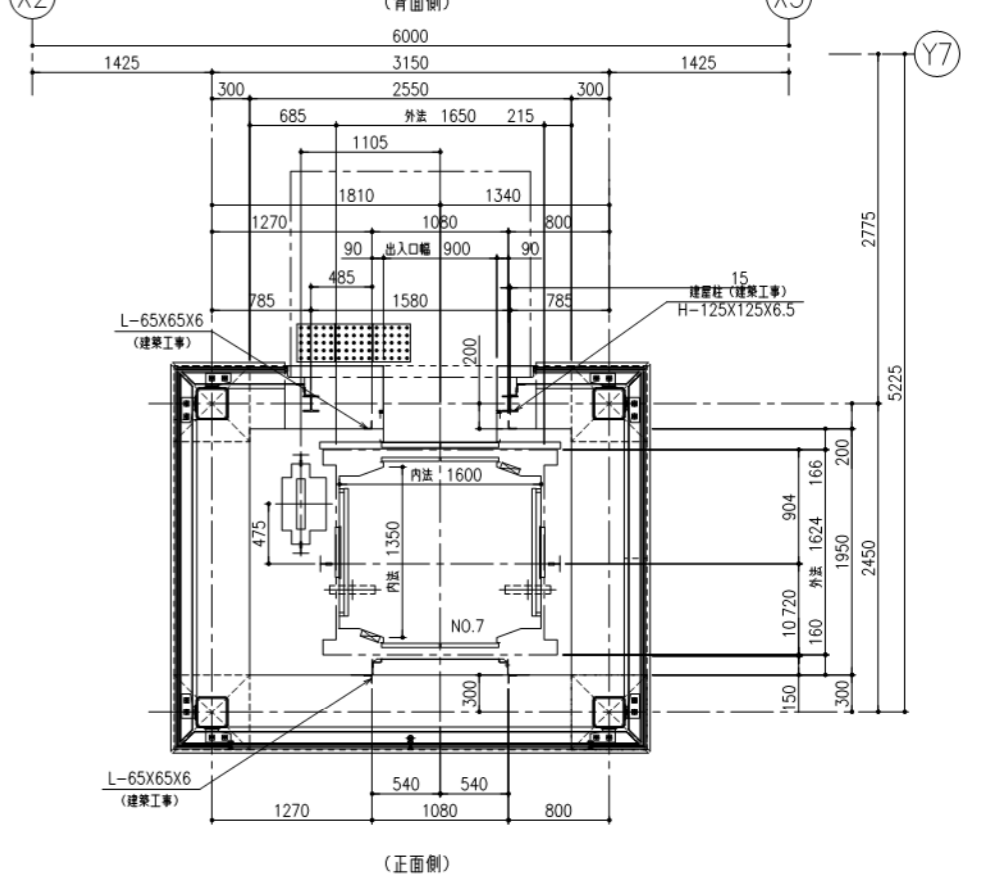
B1階昇降路平面図 (1:30)
中層ビーム:A:[-150X75X9-2本 (ELV工事)]



B1階昇降路平面図 (1:30)



1FL+1500, 1FL+3350 昇降路平面図 (1:30)
中層ビーム:A: H-100X100X6X8-1本 (建築工事)
中層ビーム:B: H-125X125X6.5X9-1本 (建築工事)
*耐火保護: 免震性建築耐震火災保護



1階昇降路平面図 (1:30)
中層ビーム:A: H-100X100X6X8-1本 (建築工事)
中層ビーム:B: H-125X125X6.5X9-1本 (建築工事)

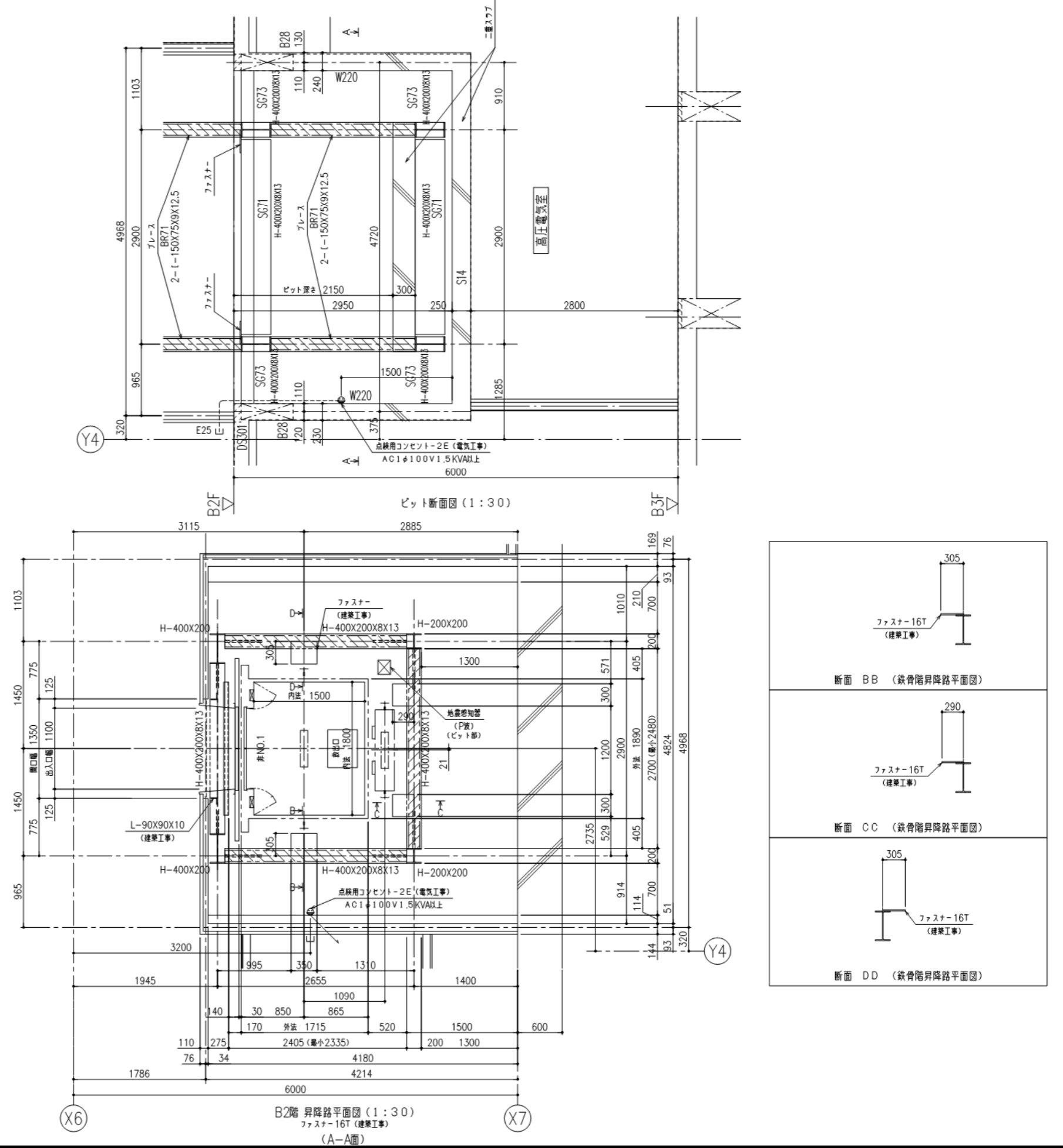
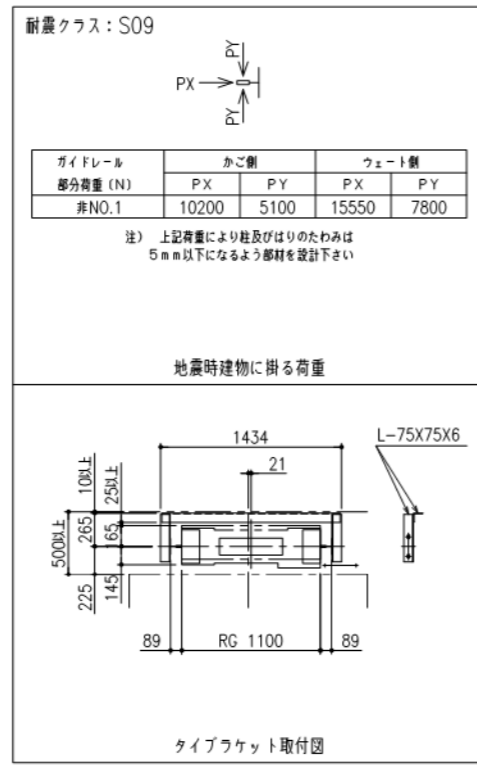
工事区分表				
号機名	非NO.1	項目	工事名	建築 電気 空調 ELV
昇降路	1	昇降路の築造と修繕工事 1) 壁または天井は防音なものとす 2) 昇降路の壁又は開口部の戸は、任意の5c㎡の面にこれと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと		
	2	各階出入口まわり壁の穴あけ工事 (出入口、押しボタン、かご位置表示灯など)		
	3	エレベーター格付後の壁、床、天井仕上げ補修工事		
	4	三方枠、インジケータなどと壁間のすきま埋め工事		
	5	三方枠、インジケータなどと壁間のすきま埋め工事(ロックウール詰め)		
	6	ビッド内防水仕上げ工事		
	7	ビッド仕上げ面の水平度は1/200以下		
	8	ビッドが深い場合の埋め戻し工事		
	9	ビッド点検用フックまたは梯子の設置工事		
	10	ビッド点検用コンセント設置工事		
	11	インターホンならびにその他の機器用の配管、配線工事 (配線サイズ、本数は電気設備による)		
	12	昇降路出入口側内壁(数階下および出入口上部)とかご前壁が125mm以上厚くなる場合のフェッパアラート設置工事		
	13	昇降路内の中層ビーム設置工事(鉄骨階層)		
	14	昇降路内の中層ビーム設置工事(鉄骨階層)		
	15	三方枠、数層、ホールボタン、インジケータなどの固定用鋼材設置工事		
	16	レールアラック、フアングを取り付け用鋼材の設置及び塗装工事		
	17	剥離されたエレベーターの巻胴端が異なる場合のセクター内巻仕切設置工事		
	18	水平止扉の昇降路出入口部の設置工事 (施行率129%の7にによる)		
	19	カゴトリックアーク設置時のビッド排水工事		
	20	昇降路乗部の煙感知器の設置工事 点検量は、1.5mm以上の鉄板を設け鋼製)		
	21	昇降路乗部の煙感知器点検口ELV連動スイッチ		
機械室	1	機械室の築造工事		
	2	機械室および出入口などの壁穴あけ工事または仮設工事		
	3	機械室の出入口設置工事(鋼製 閉門式 施設付)		
	4	機械室の出入口が壁外に接する場合は底設置工事		
	5	機械室に至る階段、通路の設置工事		
	6	機械室の受電制御盤への動力電源、照明電源および接地線の引込みならびに隠し込み工事 (配線サイズ、本数は電気設備による)		
	7	機械室照明設備工事(停電灯含む)		
	8	機械室点検用コンセント設置工事 (機械室内出入口周辺に設置)		
	9	リモートメンテナンス用として電話中継機から機械室・昇降路・客巻部までの配管、配線工事 (配線サイズ、本数は電気設備による)		
	10	機械室天井の煙感知器の設置工事 (機械室外部から保守点検可能な構造)		
	11	機械室の配管およびマッパシーム取付後の機械室床のサンダーコンクリート打ちおよび防塵塗装仕上げ工事		
	12	監視用配管配線(詳細は監視設備仕様書参照)		
	13	機械室マッパシーム受染およびスベーク設置工事		
	14	機械室の自然採光用窓が必要な場合の設置工事		
	15	機械室のガラク設置工事		
	16	機械室の換気扇設置工事		
	17	天井のフックまたは吊りビーム取付		
	18	換気扇入口仮設工事及び復旧工事		
	19	機械室及び出入口扉の防音工事(吸音材・エアタイト戸)		
	20	エレベーター部品搬入経路の確保		
	21	エレベーター格付工事用水、砂、セメントなどの供給		
22	エレベーター格付工事現場事務所および材料置場の確保			
23	エレベーター格付工事および運転調整用電力ならびに本設電源に切り替え後の運転調整用電力			
24	非常機等、搬送用機等、コンベヤ等、エレベーターなどの電源とエレベーター動力用電源の電力系統分離工事			
25	エレベーター工事使用の場合の出入口およびかご内養生工事			
26	エレベーター工事使用後の調整費用			
その他	1	昇降路内仮設足場の設置工事		
	2	昇降路または機械室と居室が隣接する場合は居室側防音工事		
	3	エレベーター基礎図と躯体が異なる場合の手直し		
	4	塔内塗装仕上げ		
	5	昇降路がガラスの場合の養生工事		
	6	A/C継ぎ目の補修、セパボルトの撤去		
	7	鉄骨階立柱の設置工事(地震時の引っかかり防止)		
	8	出入口への雨水対策		
	9	乗場出入口の補修		
	10	第一機械室への保守点検用通路設置		
	11	ビッド点検口設置工事		
	12	非常用エレベーターホール全階の避難経路仮設設置工事		
	13	非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工		
	14	機械室床下等の袋部の撤去切替工事		
	15	放送(一般・非常)用配管配線 引込み位置: 機械室・昇降路		
	16	自家発の高用電変換別接点の交換 引込み位置: 機械室・昇降路・監視盤		
	17	火災警報制御用接点の交換 引込み位置: 機械室・昇降路・監視盤		
	18	防火用ケーブルの配線 引込み位置: 機械室・昇降路		
	19	乗場の防火フック用牽動接点(Cの接点)交換		

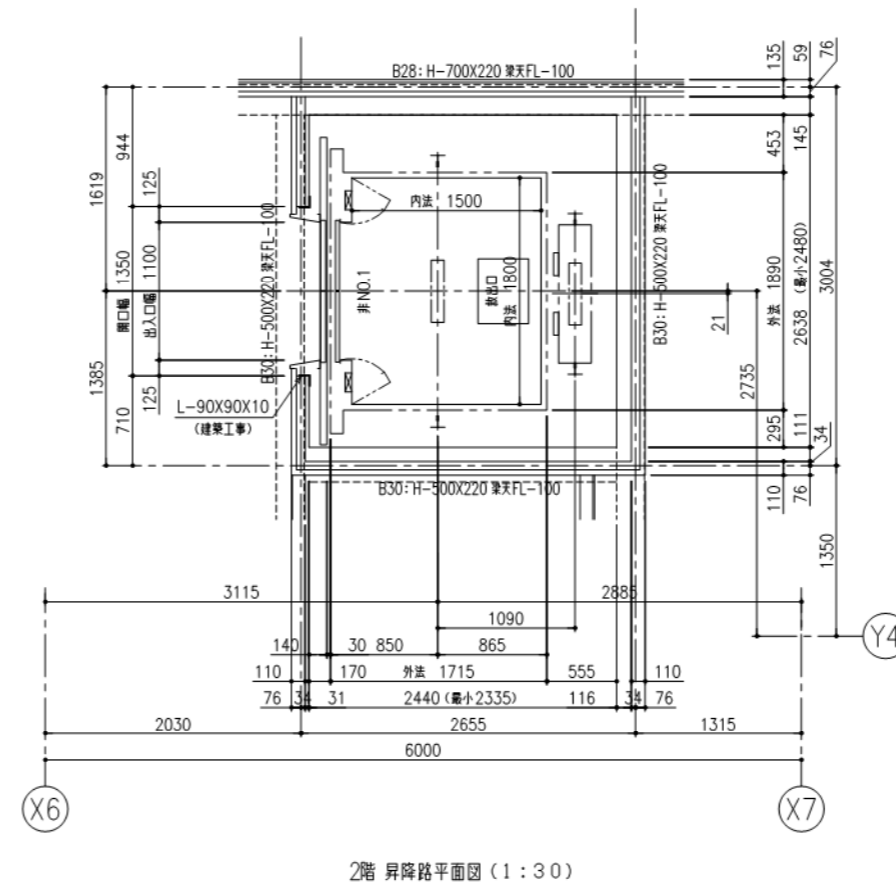
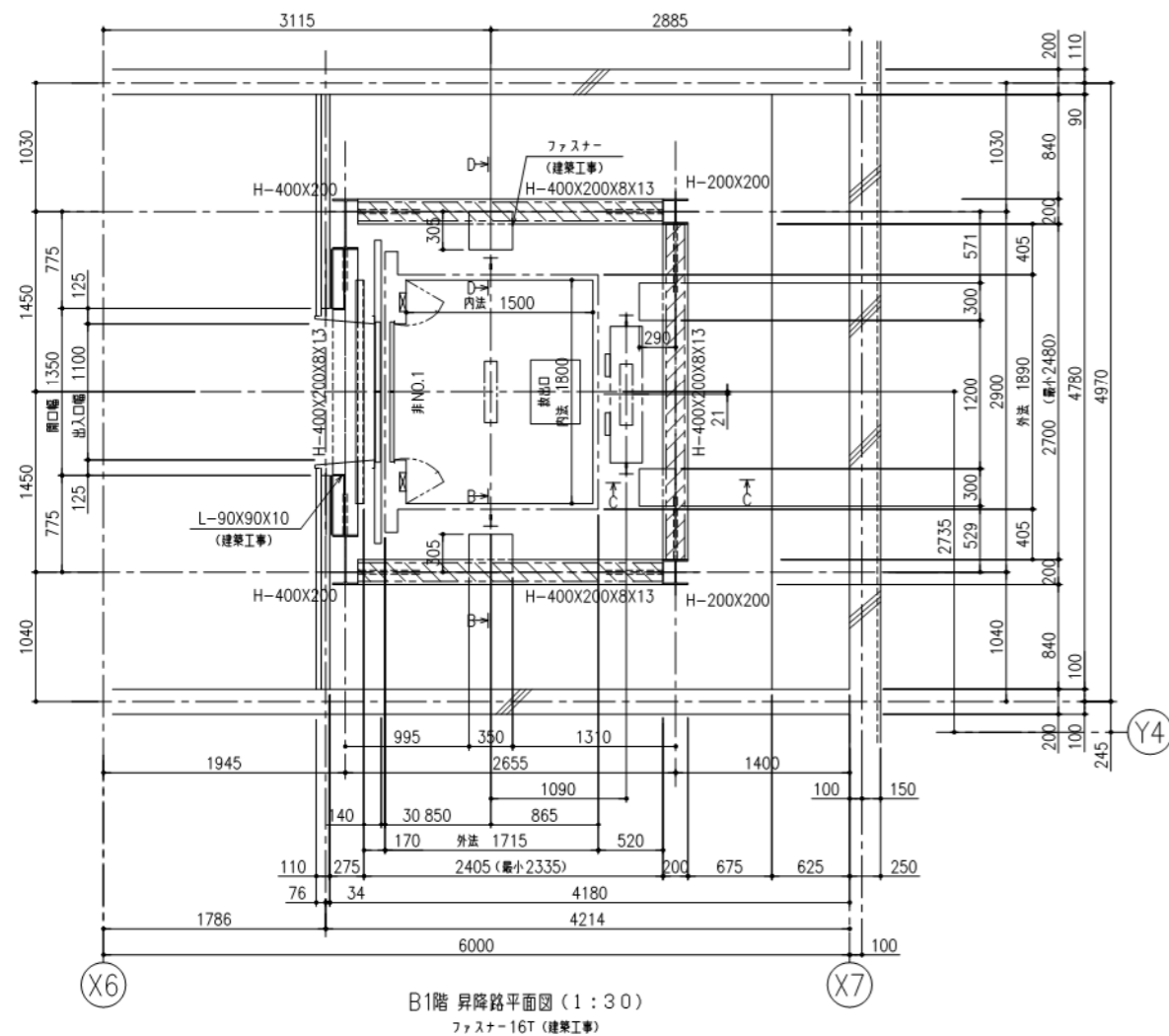
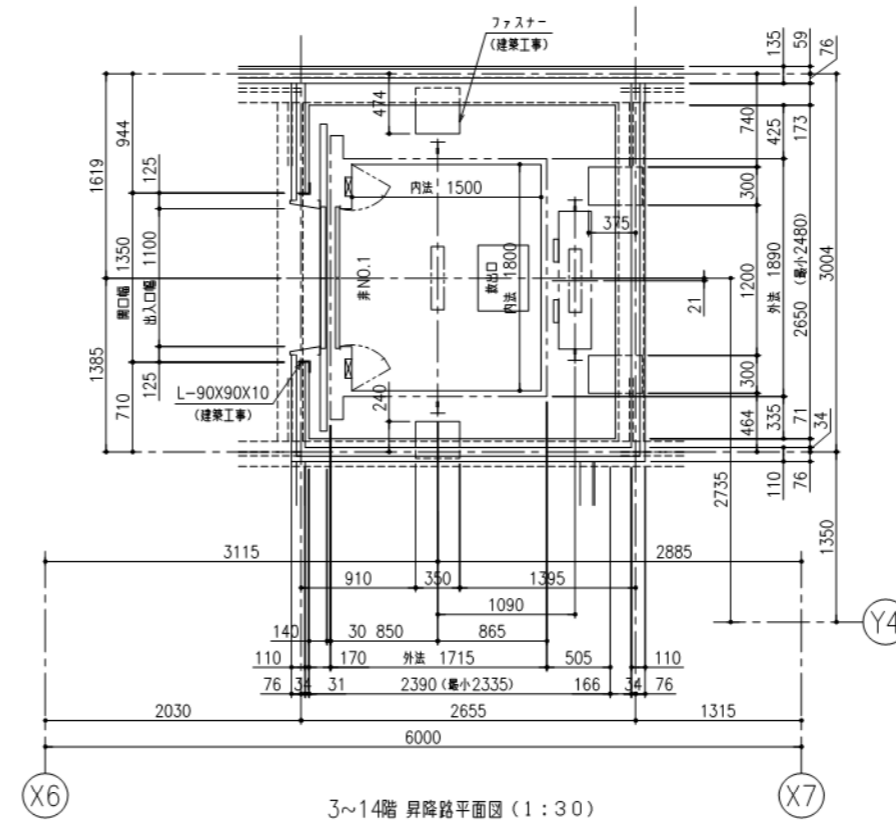
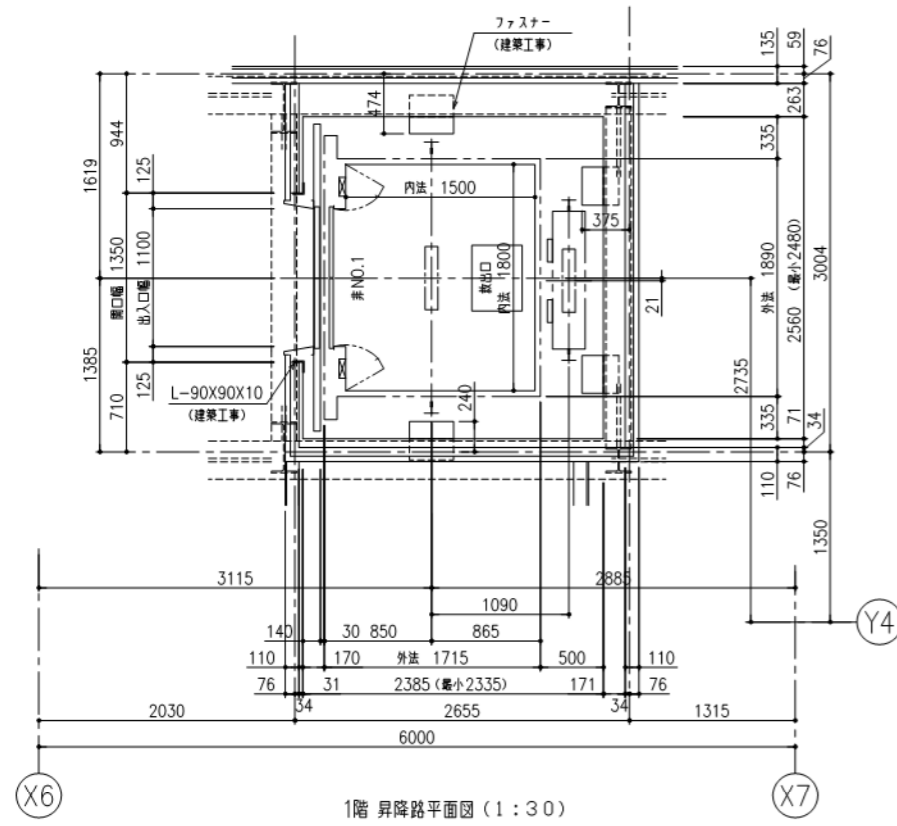
電気設備	
号機名	非NO.1 (予備電源付: 自家発電源(照明・換気扇付))
動力用電源	AC-GC 3φ 400V 50Hz 線サイズ×1回路(FPD) 線サイズ(mm ²) 最大引込距離(m) MCB容量 トランス容量 始動KVA
照明用電源	AC-GC 1φ 100V 50Hz 5.5mm ² ×1回路2.0kVA
アース線	5.5mm ² (C種)
インターホン用配管配線	HP 0.9-7P
リモートメンテナンス用配管配線	HP 0.9-1P, 配管サイズφ25
ビッド点検用コンセント	AC 100V 1.5kVA以上×1個(排水仕様) (ビッド床面よりH=1500以内の出入口付近に設置)
機械室点検用コンセント	AC 100V 1.5kVA以上 (機械室出入口の周囲に設置)
自家発動力用電源	発電機: 自家発電源切替後は、建屋電気設備側で設置 ※自家発電源が確立した後に切り替わる回路 始動入力 非NO.1 51kVA エレベーター起動時の瞬時電圧降下 17%以内 エレベーター起動後の電圧降下 始動後0.5秒以内に10%以内 自家発電機 ダンパー巻線付
一般兼非常放送用スピーカー用配管配線	HP 1.2-3C
監視用配管配線	FP1.2-20C×1, HP0.9-20P×1
クーラー用電源	エレベーター動力電源から供給
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で行込み

換気設備	
号機名	非NO.1
機械室換気量	3600W
所要換気量	1500m ³ /h
換気扇	直径300mm(鋼板製 FDF付、サーモスイッチと連動) (床面から下置高さ1800未満の場合は保護ガード付とする)
ガラク	W×H(鋼板製 FDF付 防虫網付)
注意事項	機械室の最高室温を40℃以下に保つ換気設備を対角位置に2箇所設置

人荷共用エレベーターの荷役制限について
・荷物積み込み質量は、台車を含みて250kg以下/回。

労基法適用(本設用): 有(設置後・設置報告)- (有)





中央合同庁舎第8号館整備等事業	新庁舎等	Me-119
	完成図	405
	エレベーター詳細図(17)	414
	目付	14.03.24
	縮尺	2-5 1:30(A1)/1:60(A3)

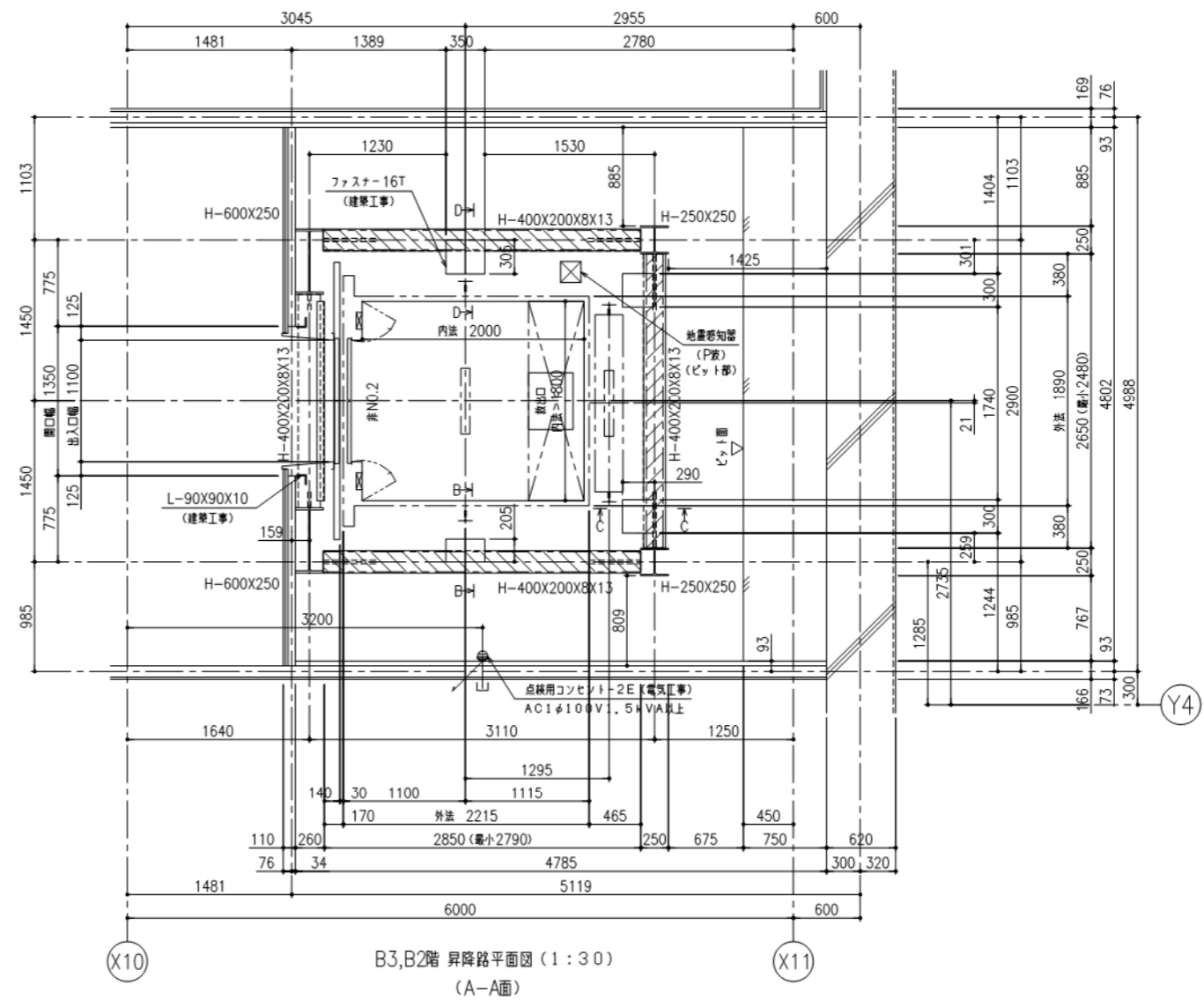
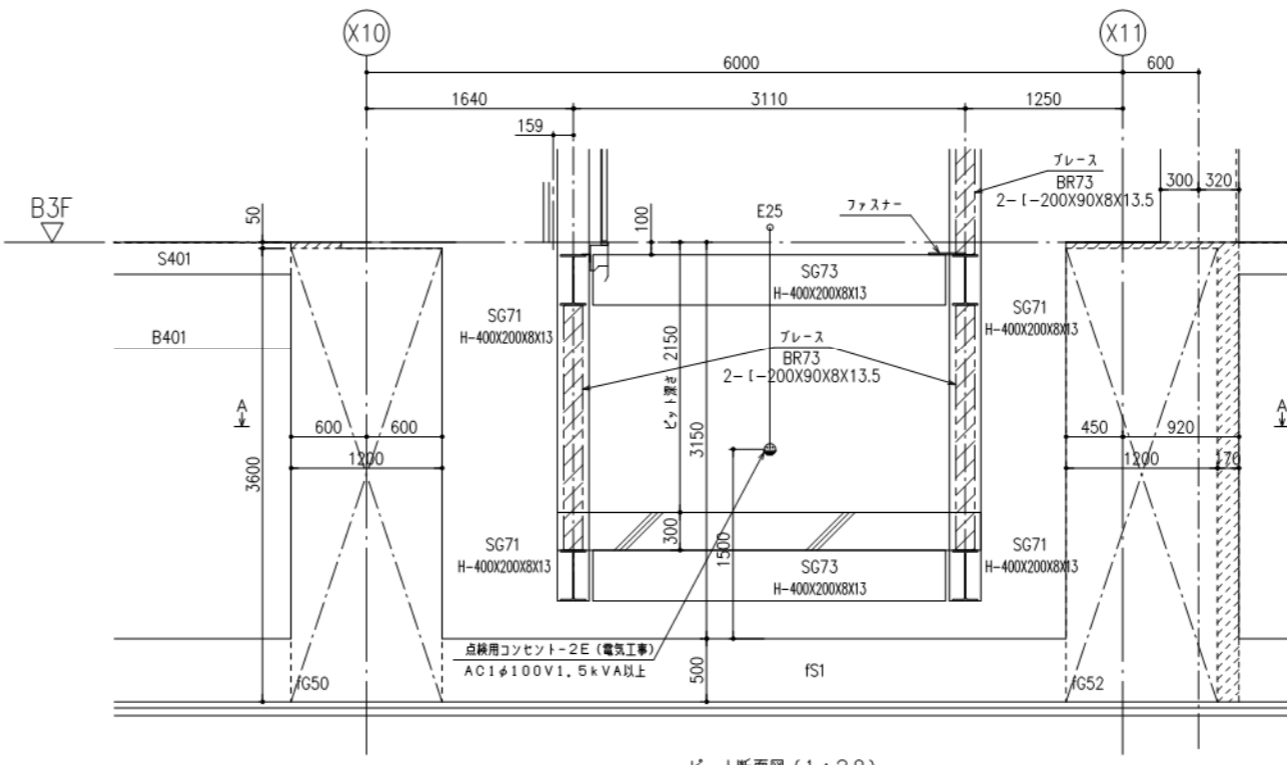
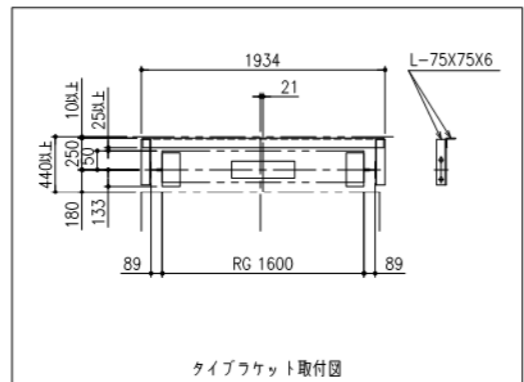
工事区分表				
号機名	非NO.2	項目	工事名	建築 電気 空調 ELV
昇降路	非NO.2	1	昇降路の築造と修繕工事 1) 壁または天井は耐火性能とする 2) 昇降路の壁又は開口の開口は、任意の5㎡の面にこれと垂直な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと	○
		2	各階出入口まわり壁の穴あけ工事 (出入口、押しボタン、かご位置表示灯など)	○
		3	エレベーター扉付後の壁、床、天井仕上げ修繕工事	○
		4	三方枠、インジケータなど壁面のすまみ埋め工事	○
		5	三方枠、インジケータなど壁面のすまみ蓋工事(ロックアップ詰め)	○
		6	ビッド内防水仕上げ工事	○
		7	ビッド仕上げ面の水平度は1/200以下	○
		8	ビッドが深い場合の埋め戻し工事	○
		9	ビッド点検用アップまたは梯子の設置工事	○
		10	ビッド点検用コンセント設置工事	○
		11	インターホンならびにその他の機器用の配管、配線工事 (配線サイズ、本数は電気設備による)	○
		12	昇降路出入口側内装(敷居下および出入口上部)とかご前壁が125mm以上離れる場合のフェニックスプレート設置工事	○
		13	昇降路内の中層ビーム設置工事(コンクリート間)	○
		14	昇降路内の中層ビーム設置工事(鉄骨間)	○
		15	三方枠、敷居、ホールボタン、インジケータなどの固定用鋼材設置工事	○
		16	レールフケット、ドアハンガ取り付け用鋼材の設置及び錆止塗装工事	○
		17	昇降路天井の遮音工事は、遮音性能が異なる場合の遮音材の埋め込み工事	○
		18	昇降路天井の遮音工事は、遮音性能が異なる場合の遮音材の埋め込み工事	○
		19	ホコリ防止ゲート設置時のビッド排水工事	○
		20	昇降路前部の遮音工事は、遮音性能が異なる場合の遮音材の埋め込み工事	○
		21	昇降路前部の遮音工事は、遮音性能が異なる場合の遮音材の埋め込み工事	○
機械室	非NO.2	1	機械室の築造工事	○
		2	機械室および出入口などの壁穴あけ工事または復旧工事	○
		3	機械室の出入口設置工事(鋼製 自閉式 施設付)	○
		4	機械室の出入口が屋外に接する場合の庇設置工事	○
		5	機械室に至る階段、通路の設置工事	○
		6	機械室の受電制御盤への動力電源、照明電源および接地線の引込みならびに接地工事 (配線サイズ、本数は電気設備による)	○
		7	機械室照明設置工事(停電灯含む)	○
		8	機械室点検用コンセント設置工事 (機械室内出入口側壁に設置)	○
		9	リモートメンテナンス用として電話中継線から機械室・昇降路・客用エレベーターまでの配管、配線工事 (配線サイズ、本数は電気設備による)	○
		10	機械室天井の遮音工事は、遮音性能が異なる場合の遮音材の埋め込み工事	○
		11	機械室の配管およびマニッパーム取付後の機械室床のコンクリート打ちおよび防音塗料仕上げ工事	○
		12	監視用配管配線(詳細は監視設備仕様参照)	○
		13	機械室マニッパーム受梁およびスペース設置工事	○
		14	機械室の自然採光用窓が必要な場合の設置工事	○
		15	機械室のガリ設置工事	○
その他	非NO.2	16	機械室の換気扇設置工事	○
		17	天井のフックまたは吊りビーム取付	○
		18	機室出入口取付工事及び復旧工事	○
		19	機械室及び出入口の防音工事(吸音材・エアタイト戸)	○
		20	エレベーター部品搬入経路の確保	○
		21	エレベーター扉付工事用の水、砂、セメントなどの供給	○
		22	エレベーター扉付工事現場場所および材料置場の確保	○
		23	エレベーター扉付工事および運転調整用電力ならびに本設電源に切り替え後の運転調整用電力	○
		24	非常用エレベーター動力電源の電力系統分離工事	○
		25	エレベーター工事使用の場合の出入口およびかご内養生工事	○
		26	エレベーター工事使用後の調整費用	○
		27	昇降路内取付足場の設置工事	○
		28	昇降路または機械室と居室が隣接する場合の居室側防音工事	○
		29	エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し	○
		30	屋内塗装仕上げ	○
31	昇降路がガラスの場合の養生施工	○		
32	ALC壁目地の補修、セパボルトの撤去	○		
33	鉄骨柱立柱の設置工事(地震時の引っかかり防止)	○		
34	出入口への雨水対策	○		
35	乗場出入口の遮断戸	○		
36	第2機械室への保守点検用通路設置	○		
37	ビッド点検口設置工事	○		
38	非常用エレベーターホール全階の避難経路設置工事	○		
39	非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工	○		
40	機械室床下の鉄骨の磨き仕上げ工事	○		
41	放送(一般・非常)用配管配線 引込み位置:機械室・昇降路	○		
42	自家発電の商用電源専用接続の支給 引込み位置:機械室・昇降路・監視盤	○		
43	火災警報用線路の支給 引込み位置:機械室・昇降路・監視盤	○		
44	防犯カメラ用同軸ケーブルの配線 引込み位置:機械室制御盤	○		
45	乗場の防火シャッター運動検点(C検点)支給	○		

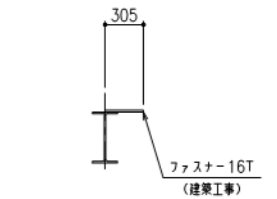
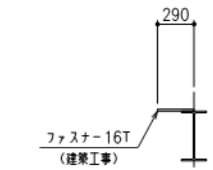
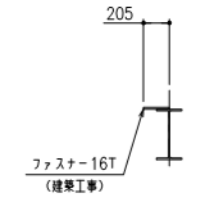
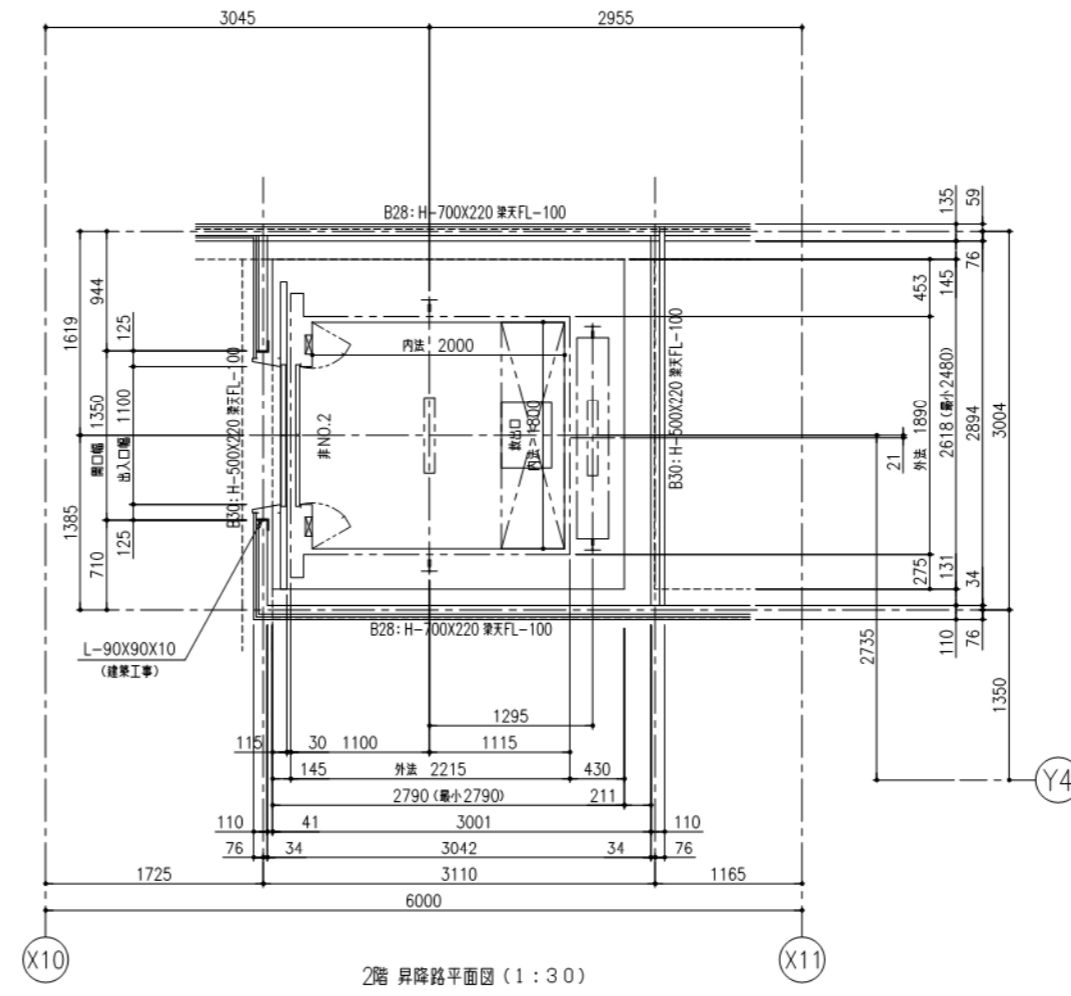
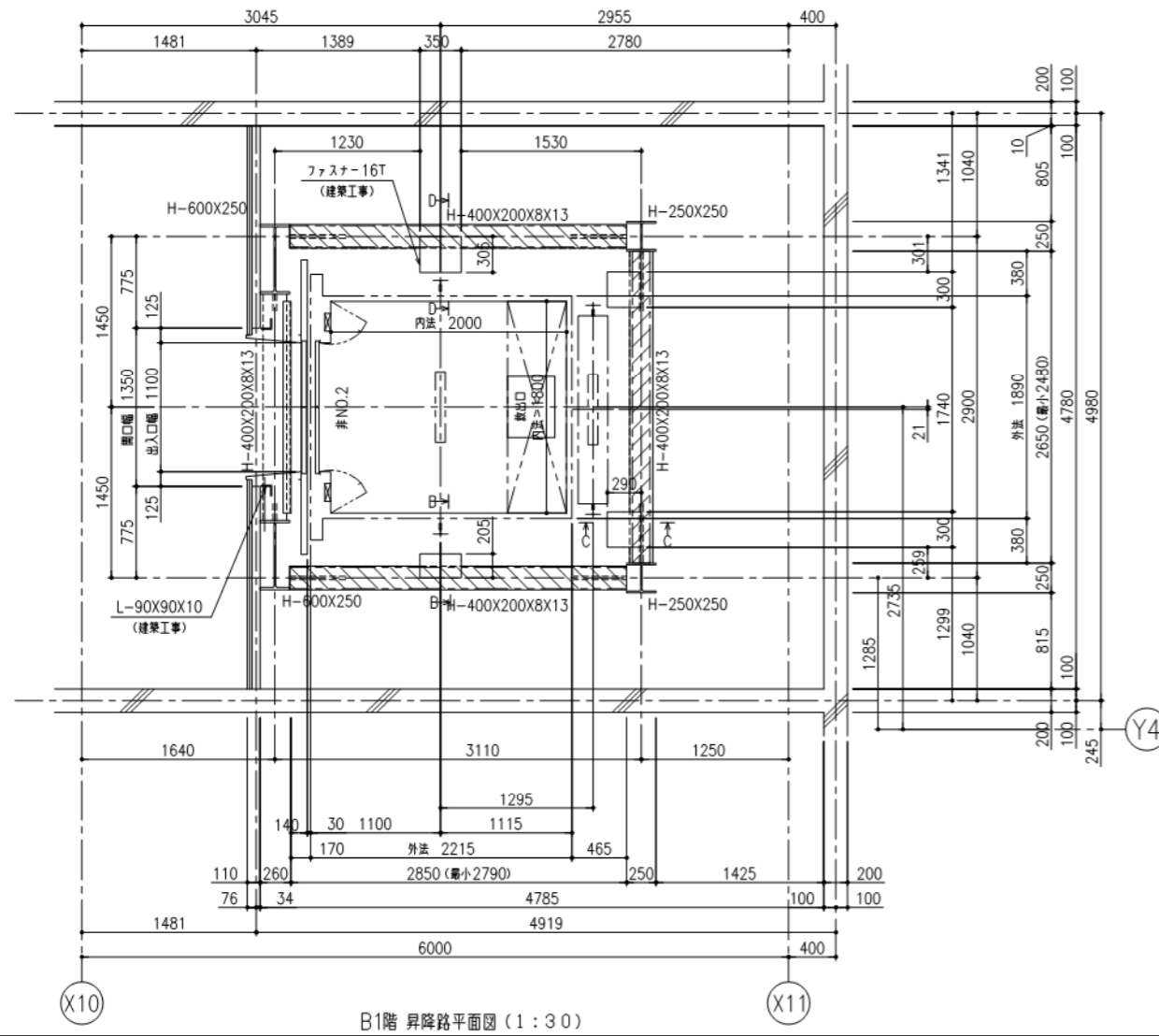
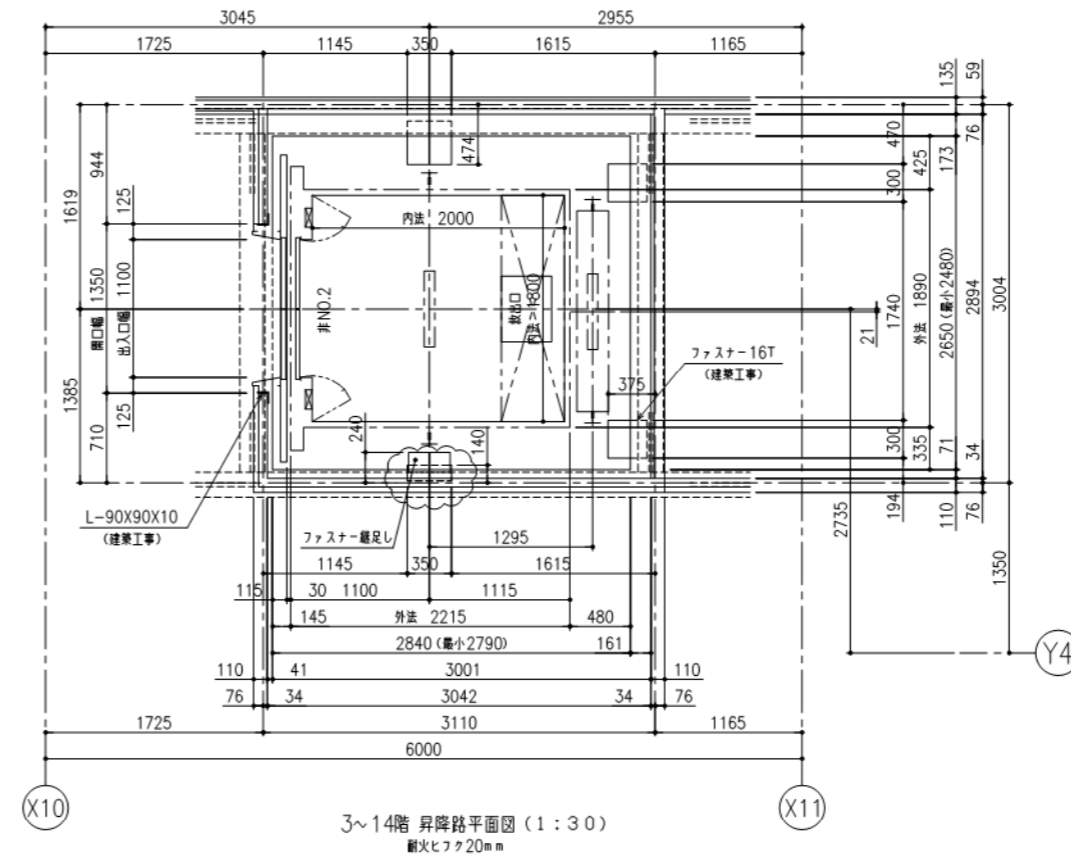
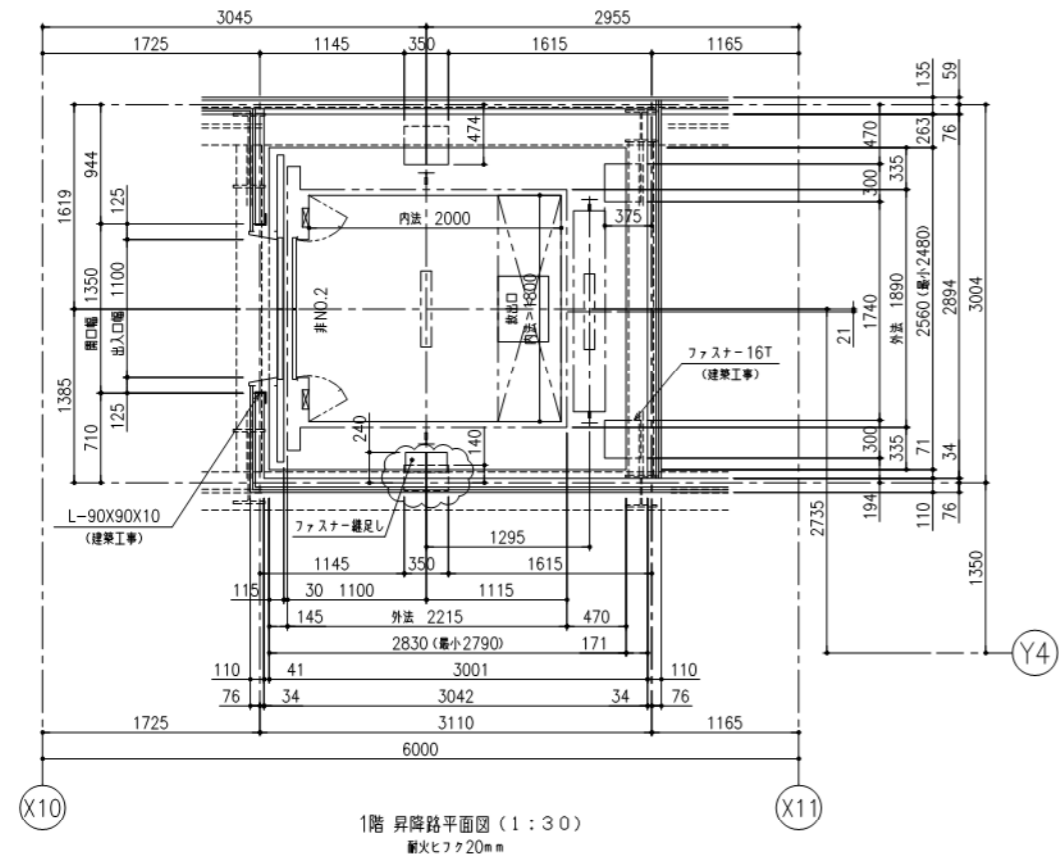
電気設備	
号機名	非NO.2 (予備電源付:自家発電源(照明、換気扇))
動力用電源	AC-GC 3φ 400V 50Hz 線サイズ×1回路(FPD) 線サイズ(mm ²) 22 36 60 最大引込距離(m) 104 173 257 MCCB容量 75A トランス容量 31kVA 起動KVA 98kVA
照明用電源	AC-GC 1φ 100V 50Hz 5.5mm ² ×1回路 アース線 14mm ² (C種) インターホン用配管配線 HP 0.9-7P リモートメンテナンス用配管配線 HP 0.9-1P、配管サイズφ25
ビッド点検用コンセント	AC 100V 15A以上×1個(防水仕様) (ビッド床面よりH=1500以内の出入口付近に設置)
機械室点検用コンセント	AC 100V 15A以上(機械室出入口の周囲に設置)
自家発電動力用電源	発電、自家発電源切替後は、建築電気設備側で設置 ※自家発電源が確立した後に切り替わる回路 起動入力 非NO.2 118kVA エレベーター起動時 の瞬時電圧降下 17%以内 エレベーター起動後 の電圧降下 起動後0.5秒以内に10%以内 自家発電機 ダンパー巻線付
一般非常放送用スピーカー用配管配線	HP 1.2-3C
監視盤用配管配線	FP1.2-20C×1, HP0.9-20P×1
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で行込み

労基法適用(本設用): 有 (設置届・設置報告)・(無)

換気設備	
号機名	非NO.2
機械室放熱量	5600W
所要換気量	2300m ³ /h
換気扇	直径 c m (鋼板製 FDF付、サーモスイッチと連動) (床面から下部高さ 1800 未満の場合は保護ガード付とする)
ガリ	W× H (鋼板製 FDF付 防虫網付)
注意事項	機械室の最高室温を40℃以下に保つ換気設備を対角位置に2箇所設置

人荷共用エレベーターの荷役制限について
・荷物積み込み質量は、台車等を含みで250kg以下/回。





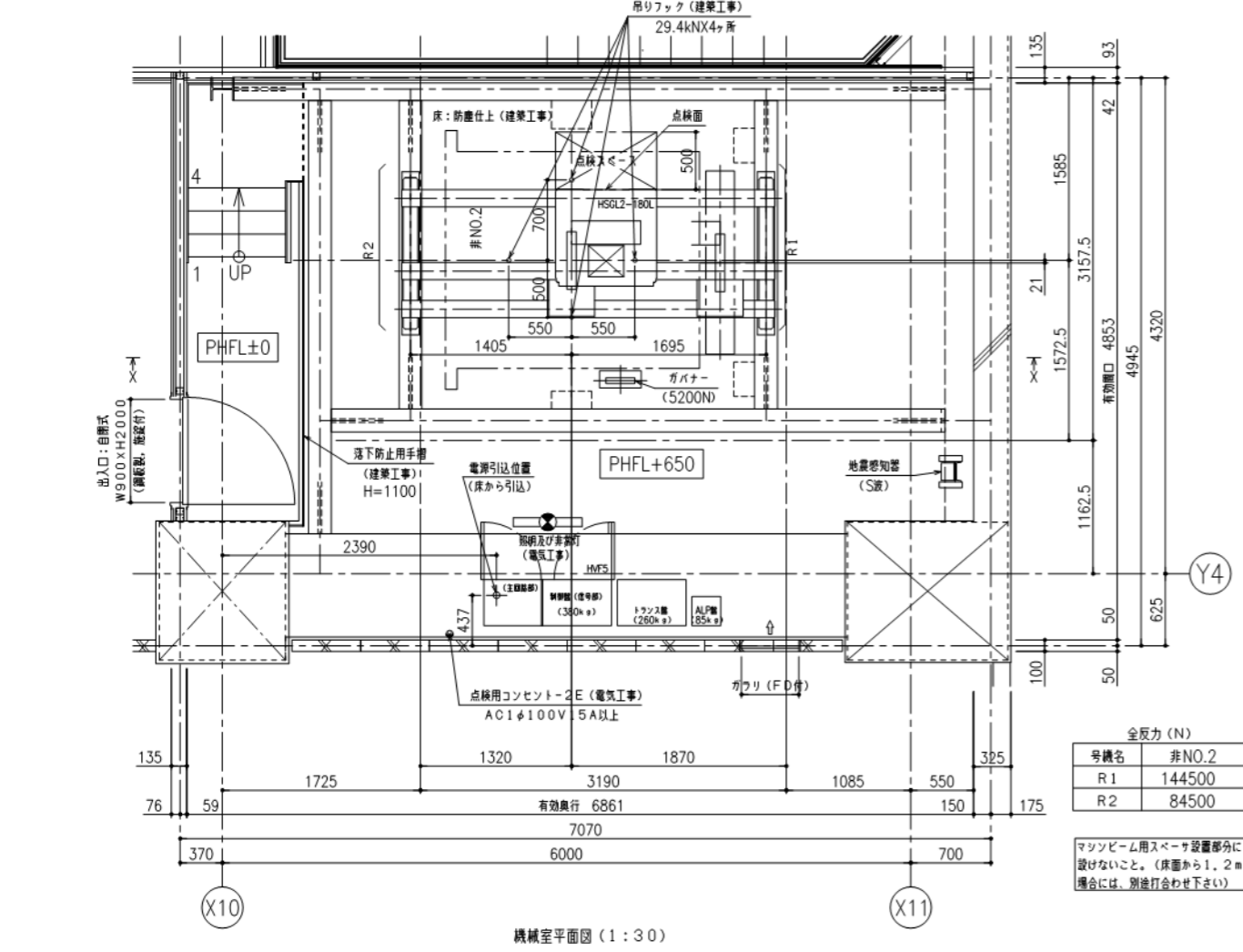
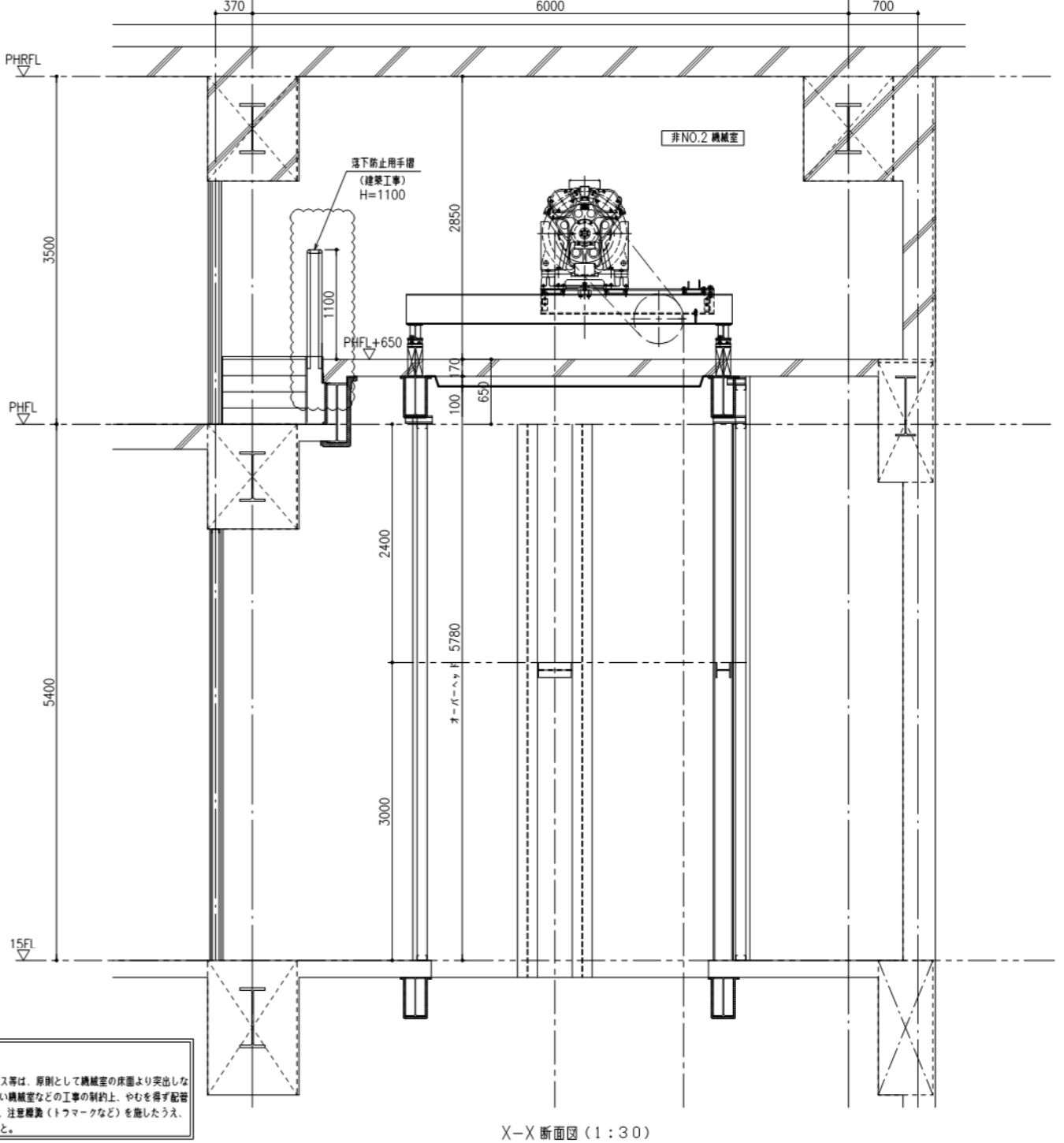
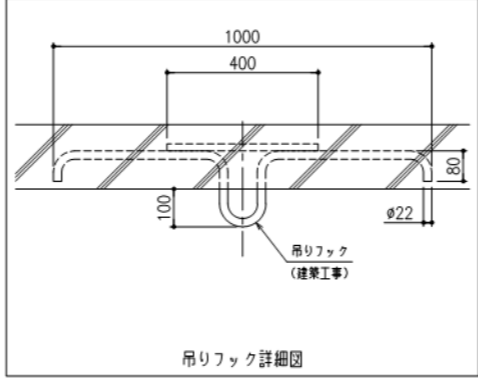
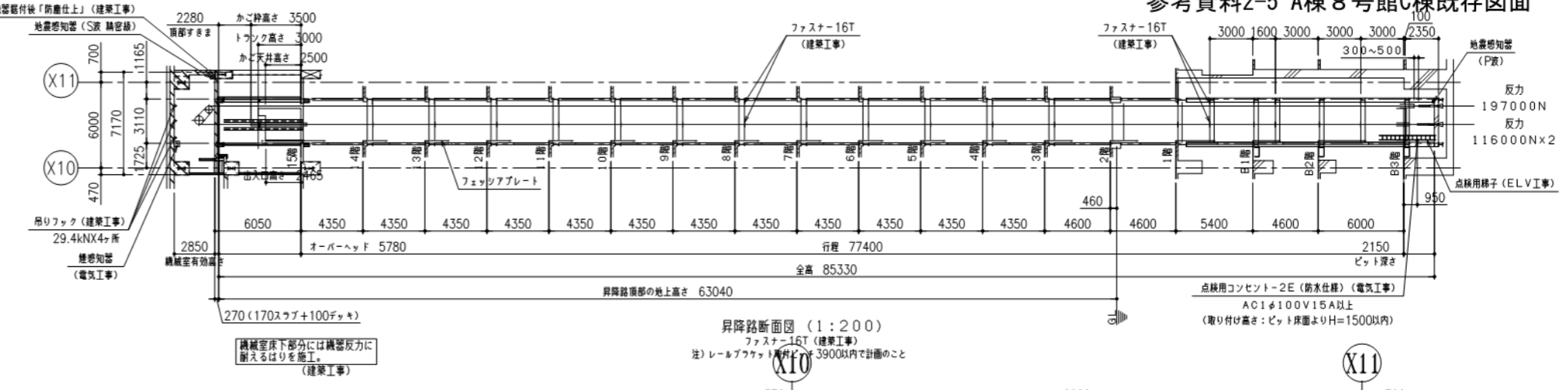
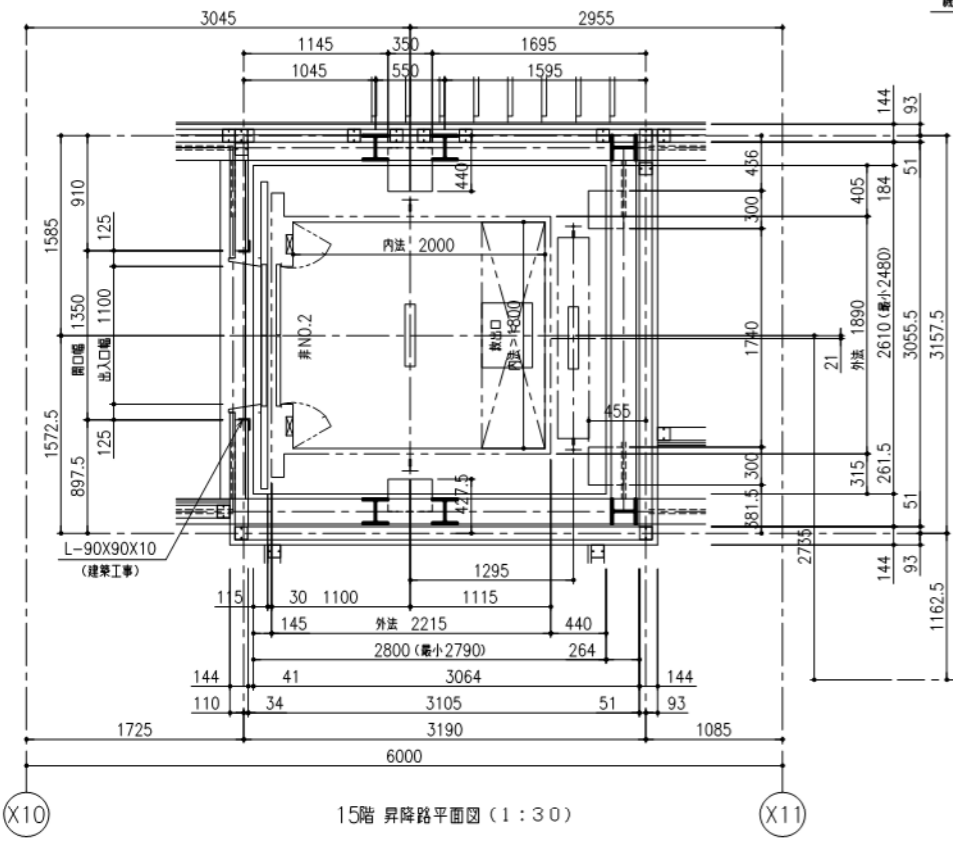
耐震クラス: S09



ガイドレール 部分荷重 (N)	かご側		ウェート側	
	PX	PY	PX	PY
非NO.2	13250	6650	19800	9900

注) 上記荷重により柱及びはりのたわみは5mm以下になるよう部材を設計下さい

地震時建物に掛る荷重



全反力 (N)	
号機名	非NO.2
R1	144500
R2	84500

マシンルーム用スベア設置部分にはブレースを設けないこと。(床面から1.2m以内に設ける場合には、別途打合わせ下さい)

配管設備の施工について
 【参考】昇降機技術基準の解説(2002)
 電気配管、フロアダクト及びブルボックス等は、原則として機械室の床面より突出しないよう施工すること。シンダーを打設しない機械室などの工事の制約上、やむを得ず配管ダクト等が床面より突出してしまう場合は、注意喚起(トママークなど)を施したうえ、保護カバー(鋼板製)を強固に取付けすること。

■既存施設の概要

建物名称	構造・階数	建築面積	容積対象延床面積
A棟	RC -6-2 塔屋2	2,624.03㎡	18,384.53㎡
8号館	RC -15-3 塔屋1	4,169.53㎡	47,034.35㎡
C棟	RC -1-2	50.20㎡	466.22㎡
門衛所 1	LS -1	13.46㎡	9.16㎡
門衛所 2	LS -1	8号館に含む	8号館に含む
門衛所 3	LS -1	6.31㎡	4.86㎡
門衛所 4	LS -1	6.75㎡	6.75㎡
駐輪場	LS -1	23.65㎡	0.00㎡
計		6,893.93㎡	65,905.87㎡

※ 1 既存庁舎の施設概要は中央合同庁舎第8号館の第3回計画変更時（平成26年2月）の数値

「建築基準法の一部を改正する法律（平成26年法律第54号）」施行前のため、EVは容積対象に含む。